

青柳伸男：経口放出制御製剤の評価：放出に及ぼす機械的
刺激の影響および結腸での放出性
平成6年度官民共同プロジェクト研究成果シンポジウム
(1995.5)

青柳伸男：製剤の新しい評価
平成7年度国公立病院薬剤部職員研修会 (1995.5)

Aoyagi, N.: **Bioequivalence Test for Oral Dosage
Forms in Japan**
The 44th Annual Meeting of The Pharmaceutical Soci-
ety of Korea, Seoul, Korea (1995.10)

鹿庭なほ子：崩壊・溶出試験の試験液
全国薬事指導所協議会 (1995.10)

青柳伸男：溶出性と生物学的同等性
医薬品添加剤学術シンポジウム (1996.2)

青柳伸男：生物学的同等性の評価法
日本薬学会第116年会 (1996.3)

青柳伸男，香取典子，小島茂雄：摩耗による経口徐放性製
剤の放出促進の個人差
日本薬学会第116年会 (1996.3)

香取典子，青柳伸男，小島茂雄：製剤からの薬物放出と消
化管内の機械的刺激—マルチプルユニット型徐放性製剤か
らの *in vivo* 薬物放出挙動と食事の影響
日本薬学会第116年会 (1996.3)

鹿庭なほ子，青柳伸男，小嶋茂雄：市販製剤の溶出速度
(4)
日本薬学会第116年会 (1996.3)

Aoyagi, N.: **Use of Dissolution Tests for Bioequivalen-
ce Assessment in Japan**
FIP Bio-international 96 Conference, Tokyo (1996.4)

Kaniwa, N.: **Application of the NONMEM to the
Bioequivalence Evaluation**
FIP Bio-international 96 Conference, Tokyo (1996.4)

Aso, Y., Yoshioka, S. and Kojima, S.: **Effect on γ -
irradiation in the drug release characteristics of poly
(d,l-lactide) microspheres**
22nd International symposium on controlled release of
bioactive materials, Washington, USA (1995.7)

阿曾幸男，吉岡澄江，小島茂雄：2H-NMR緩和時間によ
る医薬品添加剤に吸着した水分子の運動性の評価
第34回NMR討論会 (1995.11)

吉岡澄江，阿曾幸男，小嶋茂雄：マトリキシング法によ
って推定される医薬品製剤の有効期間
日本薬学会第116年会 (1996.3)

吉岡澄江，阿曾幸男，小嶋茂雄：スピン-スピン緩和時間
によって表される凍結乾燥BSAおよび γ -グロブリンの

分子運動性とアグリゲーションに対する安定性
日本薬学会第116年会 (1996.3)

阿曾幸男，吉岡澄江，小嶋茂雄：ポリビニルアルコールハ
イドロゲルからの薬物放出速度と水および高分子の運動性
との関係
日本薬学会第116年会 (1996.3)

Izutsu, K., Yoshioka, S. and Kojima, S.: **Effect of
molecular compatibility between poly (ethylene gly-
col) and other excipients on phase separation and
eutectic crystallization in frozen solutions**
211th American Chemical Society National Meeting,
New Orleans, USA (1996.3)

石橋無味雄：不正医薬品迅速分析法
第二回中日分析技術討論会 第二回中日分析技術セミナー，
天津 (1995.11)

Uchida, K., Ishibashi, M., Okuda, A., Okuda, H.,
Kawamura, J., Kojima, S., Tonooka, H. and Mizuno, S.:
**One of the Countermeasures Against Counterfeit/
Substandard Drugs in Developing Countries**
第10回国際保険医療学会 東京 (1995.10)

最所和宏，石橋無味雄，小嶋茂雄：カンゾウ含有感冒薬中
のグリチルリチン酸と感冒薬有効成分のキャピラリー電気
泳動による一斉定量
日本薬学会第116年回 (1996.3)

Nakahara, Y., Takahashi, K., and Kikura, R.: **Effect of
structural factors on incorporation of drugs into hair**
1995 International Conference for Hair Analysis in
Forensic Toxicology, Abu Dhabi, UAE (1995.11)

Nakahara, Y., Takahashi, K., Kikura, R., Mieczkowski,
T.*¹, Taglioro, F.*² and Foltz, R. L.*³: **New findings of
hair analysis for hallucinogens (LSD, MDA/MDMA
and PCP)**

1995 International Conference for Hair Analysis in
Forensic Toxicology, Abu Dhabi, UAE (1995.11)

*¹ Univ. of south Florida, USA

*² Institute of Forensic Medicine, Univ. of Verona,
Italy

*³ Center for human Toxicology, Univ. of Utah, USA

中原雄二，木倉瑠理，小嶋茂雄：薬物乱用歴推定のための
毛髪分析 XVI. エフェドリン系薬物のラット毛髪への取
込率とエフェドリン使用者の毛髪分析への応用
日本薬学会第116年会 (1996.3)

高橋一徳，中原雄二，小嶋茂雄：薬物乱用歴推定のための
毛髪分析 XVII. Furfenorex およびその代謝物の毛髪へ
の移行と覚せい剤使用との識別
日本薬学会第116年会 (1996.3)

木倉瑠理，中原雄二，小嶋茂雄：薬物乱用歴推定のための
毛髪分析 XVIII. Fenethylamine 投与の動物およびヒト毛
髪中の薬物の検索

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

栗原 久^{*1}, 関根均^{*2}, 中原雄二: 覚醒剤とタバコの喫煙によって生じる N-cyanomethamphetamine の行動薬理作用: マウスの移動運動による検討
第 5 回神経行動薬理若手研究者の集い (1996. 3)

^{*1} 群馬大学医学部

^{*2} 埼玉県警科学捜査研究所

中村 竜^{*1}, 川西 徹, 田中 光^{*2}, 加藤由充^{*2}, 重信弘毅^{*2}: カルシウムスパークのミリ秒単位での 2 次元画像化と解析
レーザー顕微鏡研究会第 15 回講演会 (1995. 6)

^{*1} (株)ニコン顕微鏡設計

^{*2} 東邦大学薬学部

田中 光^{*}, 川西 徹: 高速走査型共焦点レーザー顕微鏡によって明かにされた心筋細胞のカルシウムイオンのダイナミクス
第 10 回単離細胞研究会 (1995. 7)

^{*} 東邦大学薬学部

川西 徹: リアルタイムイメージング
第 20 回組織細胞化学講習会 (1995. 8)

川西 徹: 高分解能リアルタイムイメージング法によって明かにされた細胞内カルシウムイオンのダイナミクス
第 33 回日本生物物理学会シンポジウム (1995. 9)

木内猛仁^{*}, 川西 徹, 太田美矢子, 大幡久之^{*}, 横田椅江, 百瀬和享^{*}, 早川堯夫: 蛍光プローブと蛍光顕微鏡画像解析法を用いた細胞内カルシウムイオン貯蔵の画像化法の検討
第 4 回日本バイオイメーキング学会学術集会 (1995. 10)

^{*} 昭和大学薬学部

山垣浩司^{*}, 中村 竜^{*}, 川西 徹: 共焦点レーザー走査顕微鏡と蛍光プローブを用いた pH 測定 of 最適条件の検討
第 4 回日本バイオイメーキング学会学術集会 (1995. 10)

^{*} (株)ニコン顕微鏡設計

川西 徹: 蛍光顕微鏡画像解析法による細胞内カルシウムイオンの動的観測
日本食品科学工学会第 11 回非破壊計測シンポジウム (1995. 11)

川西 徹: 医薬品の併用による副作用発現の可能性
第 12 回日本毒性病理学会シンポジウム (1996. 1)

川西 徹, 石崎 悟^{*}, 木内猛仁^{*}, 太田美矢子, 横田椅江, 大幡久之^{*}, 百瀬和享^{*}, 早川堯夫: ラット初代培養肝細胞におけるカルシウムウェーブのメカニズムについて—受容体の局在との関係について—
第 69 回日本薬理学会年会 (1996. 3)

^{*} 昭和大学薬学部

木内猛仁^{*}, 太田美矢子, 横田椅江, 大幡久之^{*}, 早川堯夫, 百瀬和享^{*}, 川西 徹: トリプチル錫によるラット肝細胞の細胞内カルシウムイオン貯蔵の枯渇
第 69 回日本薬理学会年会 (1996. 3)

^{*} 昭和大学薬学部

田中 光^{*1}, 西丸和秀^{*1}, 川西 徹, 中村 竜^{*2}, 山垣浩司^{*2}, 重信浩毅^{*1}: 高速走査型共焦点レーザー顕微鏡による心筋細胞内カルシウムスパークの解析
第 69 回日本薬理学会年会 (1996. 3)

^{*1} 東邦大学薬学部

^{*2} (株)ニコン顕微鏡設計

川西 徹, 畝山智香子, 豊田和弘, 高橋道人, 横田椅江, 太田美矢子, 早川堯夫, 木内猛仁^{*}, 大幡久之^{*}, 百瀬和享^{*}: 初代培養肝細胞の cyclic AMP 変動へのトリプチル錫の影響—細胞内カルシウム変動への影響との比較—
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

^{*} 昭和大学薬学部

甚内知子^{*}, 山城孝司^{*}, 渡辺直子^{*}, 小林芳朗^{*}, 田中光^{*}, 重信弘毅^{*}, 川西 徹: ヒト NK 細胞株 (YTN) と標的細胞との相互作用におけるカルシウムの動的観測
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

^{*} 東邦大学

川西 徹, 太田美矢子, 横田椅江, 早川堯夫, 豊田和弘, 畝山智香子, 高橋道人, 加藤誠司^{*}, 朝生弘樹^{*}, 大幡久之^{*}, 百瀬和享^{*}: 高速走査型共焦点レーザー顕微鏡を用いたカルシウムウェーブの解析
レーザー顕微鏡研究会第 17 回講演会シンポジウム (1996. 6)

^{*} 昭和大学薬学部

山垣浩司^{*}, 川西 徹: 共焦点レーザー走査顕微鏡と蛍光プローブを用いた細胞内 pH の画像化条件の検討
レーザー顕微鏡研究会第 17 回講演会 (1996. 6)

^{*} (株)ニコン顕微鏡設計

中村 竜^{*1}, 川西 徹, 田中 光^{*2}, 西丸和秀^{*2}, 重信弘毅^{*2}: 共焦点ミリ秒画像化の課題
レーザー顕微鏡研究会第 17 回講演会シンポジウム (1996. 6)

^{*1} (株)ニコン顕微鏡設計

^{*2} 東邦大学薬学部

森本和滋, A. F. A. Alim, 川崎ナナ, 早川堯夫: 蛍光体支援糖質電気泳動法 (FACE) 法による糖鎖含有タンパク質の糖鎖解析への応用
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

春日井勲, 森本和滋, 早川堯夫: HL-60 細胞における M-CSF レセプター高発現細胞株の樹立および諸性質の検討
第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)

春日井勲, 森本和滋, 早川堯夫: TPA による M-CSF レセプター高発現 HL-60 細胞の分化
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

川崎ナナ, 森本和滋, 早川堯夫: K562 細胞におけるトランスフェリン鉄による増殖・ヘモグロビン合成調節機構
第 8 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (1996. 5)

川崎ナナ, 森本和滋, 早川堯夫: K562 細胞の赤芽球分化過程における細胞内鉄動態とヘモグロビン合成調節機構について

- 日本薬学会第116年会 (1996.3)
- 川崎ナナ, 森本和滋, 谷本 剛, 早川堯夫: **K562細胞の赤芽球分化過程におけるヘム合成調節機構について**
第7回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(1995.6)
- 小木美恵子, 山口照英, 山口高正, 押澤 正, 鈴木和博, 岩田明子, 田中寿一, 吉川 昭*, 高橋 惇, 早川堯夫: **G-CSFによるHL-60細胞の活性酸素生成酵素の機能的成熟とそれに関わる因子の解析**
日本分子生物学会第18回年会 (1995.12)
* 埼玉日赤血液センター
- 新見伸吾, 山口照英, 早川堯夫: **ラット初代培養肝細胞におけるグルココルチコイド受容体のチロシンキナーゼによる調節**
第2回肝細胞研究会 (1995.6)
- 新見伸吾, 山口照英, 早川堯夫: **ラット初代培養肝細胞におけるグルココルチコイド受容体のチロシンキナーゼによる調節**
第68回日本生化学会大会 (1995.9)
- 小林 哲, 福岡正道, 早川堯夫, 多賀 徹*: **精巢毒性に関するフタル酸エステルの構造活性相関**
日本薬学会第116年会 (1996.3)
* 京都大学薬学部
- 早川堯夫: **遺伝子治療用医薬品の品質および安全性の確保平成7年度遺伝子治療臨床研究シンポジウム** (1996.3)
- Hayakawa, T.: **Issues Related to Harmonization of Testing Requirements for Viral Safety**
International Scientific Conference on Viral Safety and Evaluation of Viral Clearance from Biopharmaceutical Products, Bethesda, USA (1995.6)
- Hayakawa, T.: **Future Development Harmonized Guidelines**
International Scientific Conference on Viral Safety and Evaluation of Viral Clearance from Biopharmaceutical Products, Bethesda, USA (1995.6)
- Hayakawa, T.: **Viral Safety Evaluation of Biotechnology Products Derived from Cell Lines of Human or Animal Origin**
The Third International Conference on Harmonization of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use, Yokohama, Japan (1995.12)
- Hayakawa, T.: **Global Perspective on Specifications for Biotechnology Products—Perspective from Japan—**
International Symposium on Development of Specifications for Biotechnology Pharmaceutical Products, San Francisco, USA (1996.5)
- 佐竹元吉: **薬用植物資源の現状と問題点**
第10回天然薬物の開発と応用シンポジウム (1995.8.3.)
- 佐竹元吉: **生薬の品質と薬局方**
- 第15回漢方学術大会 特別講演 漢方処方に用いる生薬の品質 (1995.11.19.)
- 佐竹元吉: **薬用植物の保護と保存**
日本薬学会第116年会 アジアの生薬資源シンポジウム (1996.3.28.)
- 佐竹元吉: **生薬の品質と薬局方**
日本東洋医学会第47回学術総会 生薬資源シンポジウム (1996.5.10.)
- 尾崎幸紘: **生薬の薬効評価に対する含有成分の薬理的関与について**
第7回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (1995.11)
- 尾崎幸紘: **麻黄の薬効・薬理**
第11回生薬に関する懇談会 (1995.12)
- 鈴木英世, 佐竹元吉: **局方生薬と成分定量**
日本薬学会第116年会 (1996.3)
- 刑 魯建, 尾崎幸紘, 佐竹元吉: **中国産 *Trichosanthes kirilowii* Maxm. の果実の抗炎症作用**
第69回日本薬理学会年会 (1996.3)
- 江崎勝司, 関田節子, 佐竹元吉, 矢口貴志*¹, 宇田川俊一*²: ***Chromoclestea malachitea* の代謝産物の研究**
日本薬学会第115年会 (1996.3)
*¹ 明治製薬薬品総合研究所
*² 東京農業大学
- 鎌倉浩之, 佐竹元吉: **ノルエフェドリン光学異性体のラット組織血流におよぼす影響**
日本薬学会第116年会 (1996.3)
- 蟹田理英*, 筒井夫美子*, 松田宗人*, 山下 明*, 小坂昇*, 関田節子, 佐竹元吉: **当帰の子宮平滑筋に対する作用**
日本生薬学会第42回年会 (1995.9)
* 鐘紡漢方研
- 代田 修, 滝沢謙二, 熊倉守彦, 関田節子, 佐竹元吉: **南米産生薬の成分研究—ペルー生薬 “*Palo de sangre*” および “*Ayrampo*” の成分について**
日本生薬学会第42回年会 (1995.9)
- Sekita, S.: **Pharmaceutical Standardization of Japanese Herbal Medicines**
Standardization and Quality Assurance of Herbal medicines, Science Forum, Manila, Davao, Philippine (1996.3)
- 代田 修, 関田節子, 佐竹元吉, 谷美智士*: **草珊瑚 (*Sarcandra glabra*) の成分に関する研究**
日本薬学会第116年会 (1996.3)
* タニ・クリニック
- Pathak Vibha, 代田 修, 関田節子, 佐竹元吉: **Studies on the chemical Constituents of *Dalbergia colchichinensis***

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

Hossain Chowdhury F., 関田節子, 佐竹元吉: **Chalcone of *Lepedeza bicolor* (Yamahagi)**
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

川原信夫, Ayer, W. A.*¹, 平塚保之*², Chakravarty, P.*²: ***Lecythophora hoffmannii* の産生する新規抗真菌物質 lecythophorin の構造**
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

*¹ アルバート大学

*² Northern Forestry Centre

杉山玲子, 小野景義, 佐竹元吉: **インターネット利用を目的とした粉末生薬画像データベースの構築**
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

小野景義, 阪本英二*¹, 眞崎知生*², 佐竹元吉: **エンドセリン A 受容体脱感作一種差と受容体塩基配列**
第 69 回日本薬理学会年会 (1996. 3)

*¹ 東京大学医学部

*² 京都大学医学部

Nakamura, A.: **Standards of Biological Evaluation for Biomaterials**

The 2nd Far-Eastern Symposium on Biomedical Materials (1995. 10)

中村晃忠: **防水スプレー事故の原因究明と防止対策**
第 24 回有機溶剤中毒研究会 (1995. 10)

中村晃忠: **二つの安全性問題—エチレンオキサイド滅菌とゴム手袋**
第 54 回中材業務研究会 (1996. 2)

佐藤道夫, 中村晃忠, 奚 廷斐*: **ポリウレタンの埋植による生体内変化 (4) NMR によるポリウレタンの解析**
第 17 回日本バイオマテリアル学会大会 (1995. 10)

* 中国薬品生物製品検定所

佐藤道夫, 矢上 健, 中村晃忠: **医療用具の放射線滅菌と揮発性物質に関する研究**
第 32 回全国衛生化学協議会年会 (1995. 11)

矢上 健, 中村晃忠: **ラテックスアレルギーと植物の生体防御タンパク質**
The 3rd Symposium of Asthma in Tokyo (1995. 12)

矢上 健, 佐藤道夫, 中村晃忠, 生野麻美子*: **天然ゴム製品による即時型アレルギーと天然ゴムに由来する β -1,3-グルカナーゼとの関連**
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* しょうの皮膚科

鹿庭正昭, 伊佐間和郎, 都 深*¹, 西岡和恵*², 中森三千代*³: **農作業用ゴム長靴およびゴム製エプロンによるアレルギー性接触皮膚炎の原因化学物質: アミン系老化防止剤**
第 3 回日本職業アレルギー学会 (1995. 7)

*¹ 島根医科大学皮膚科

*² 山口赤十字病院皮膚科

*³ 東海大学医学部皮膚科

鹿庭正昭, 門馬純子, 伊佐間和郎, 中村晃忠: **アミン系老化防止剤によるアレルギー性接触皮膚炎 原因究明, およびアレルギー性, 交差反応性の確認**
第 32 回全国衛生化学技術協議会 (1995. 11)

鹿庭正昭, 伊佐間和郎, 中村晃忠: **ゴム製品などによるアレルギー性接触皮膚炎における原因製品と原因化学物質の関連性 (1980~1995)**
第 20 回日本接触皮膚炎学会 (1995. 12)

伊佐間和郎, 鹿庭正昭, 門馬純子, 北嶋 聡, 津田充裕, 黒川雄二, 中村晃忠: **アルデヒド類のモルモット皮膚感作性と物理化学的性質との相関性について**
第 22 回日本毒科学学会学術年会 (1995. 7)

伊佐間和郎, 鹿庭正昭: **インターネットによる家庭用品の安全性情報の提供**
第 32 回全国衛生化学技術協議会年会 (1995. 11)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: **ポリエチレンによる細胞間連絡阻害作用とコラーゲン修飾による阻害抑制効果**
第 24 回医用高分子シンポジウム (1995. 6)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: **ポリエチレンによる細胞間連絡阻害作用とタンパク修飾による作用変化**
第 12 回生体繊維と生医学材料に関するシンポジウム (1995. 6)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: **高分子材料の発ガンプロモーター作用に関する研究 (2); 種々のタンパク質によるポリエチレンの表面修飾が代謝協同阻害作用に与える影響**
第 17 回日本バイオマテリアル学会 (1995. 10)

土屋利江, 中岡竜介, 出川宏規, 中村晃忠: **ポリウレタンの発癌性のイニシエーションとプロモーション作用解析**
第 12 回生体繊維と生医学材料に関するシンポジウム (1995. 6)

土屋利江, 五十嵐良明, 小栗育子, 出川宏規, 中村晃忠, 豊田和弘, 高橋道人, 土居 寿*¹, 米山隆之*¹, 浜中人士*¹: **鉄-クロム合金の生体適合性に関する研究 (4) 8ヶ月間埋植したラットでの生体内イオン溶出挙動**
第 17 回日本バイオマテリアル学会 (1995. 10)

* 東京医科歯科大学医用器材研究所

土屋利江, 中岡竜介, 出川宏規, 中村晃忠: **高分子材料の生体適合性に関する研究 (1) ポリウレタンによる細胞形質転換過程でのギャップ結合蛋白, コネキシンの変化**
第 17 回日本バイオマテリアル学会 (1995. 10)

出川宏規, 土屋利江, 中村晃忠: **高分子材料の添加剤の発ガンプロモーション活性について**
第 17 回日本バイオマテリアル学会 (1995. 10)

出川宏規, 土屋利江, 中村晃忠: **ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の発ガンプロモーション作用について**
日本動物実験代替法学会第 9 回大会 (1995. 11)

土屋利江, 小栗育子, 山越葉子, 宮田直樹: **マウス胎仔軟骨および神経発生分化に及ぼすフラーレンの影響**

第9回フラーレン総合シンポジウム (1995.7)

土屋利江, 大島雄一, 山越葉子, 宮田直樹, 増野匡彦*¹, 廣部雅昭*¹: **水溶性フラーレン誘導体の軟骨分化促進作用について**

第10回フラーレン総合シンポジウム (1996.1)

* 東京大学薬学部

土屋利江: **医薬品プラスチック容器における細胞毒性試験について**

臨時東西合同 ED 委員会講演会 (1996.2)

Tsuchiya, T., Takahara*¹, A., Cooper, S. L.*², Nakaoka, R., Degawa, H., and Nakamura, A.: **A new hypothesis; Inhibitory potentials of the gap-junctional intercellular communication play an important role in the tumorigenesis induced by biomaterials**

15th Southern Biomedical Engineering Conference, Dayton, USA (1996.3)

*¹ 九州大学工学部

*² College of Engineering, University of Delaware

五十嵐良明, 土屋利江, 出川宏規, 中岡竜介, 中村晃忠, 豊田和弘, 高橋道人, 土居 寿*, 小林郁夫*, 米山隆之*, 浜中人士*: **チタン, ジルコニウム合金の生体適合性に関する研究 (1): 組織反応性と感作性**

第17回日本バイオマテリアル学会大会 (1995.10)

* 東京医科歯科大学医用器材研究所

五十嵐良明, 別府正敏*, 菊川清見*: **ビタミンEの接触感作性免疫反応に対する増強効果**

日本薬学会第116年会 (1996.3)

* 東京薬科大学薬学部

Shintani, H.: **Leaching of toxic and carcinogenic additives and residual monomer from dental plate**

30th Annual AAMI Meeting & Exposition, Anaheim, CA (1995.5)

Shintani, H.: **What are the safest sterilization methods for medical devices?**

30th Annual AAMI Meeting & Exposition, Anaheim, CA (1995.5)

Shintani, H.: **Automated system of the combination of solid phase extraction and dialysis for pretreatment of blood urea analysis**

1995 Preparative Chromatography Symposium, Washington, DC (1995.6)

新谷英晴: **高圧蒸気滅菌のバリデーション**
PDA 教育セミナー (1995.7)

新谷英晴: **滅菌のバリデーション**
PDA 教育セミナー (1995.8)

Shintani, H.: **Differential uremic toxin analysis using combination of automated dialysis, automated solid phase extraction and automated HPLC**

4th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring and Clinical Toxicology, Vienna (1995.9)

Shintani, H.: **Review presentation on comparison of several methods for blood urea analysis**

Invited lecture at 49th Slovakia Chemical Society Symposium (1995.9)

Shintani, H.: **Comparison of efficiency of blood pretreatment between automated solid phase extraction and automated dialysis**

Applications of HPLC and HPCE in the Biosciences, Prague, Czech Republic (1995.9)

Shintani, H.: **Which method for urea analysis is more appropriate between C-18 HPLC combined with immobilized enzyme and cation exchange chromatography?**

International ion chromatography symposium, Dallas, TX, USA (1995.10)

新谷英晴: **生物指標のD値に及ぼす担体, 懸濁液, 培地組成の影響**

日本PDA第3回年回 (1995.11)

Shintani, H.: **Hyphenated system of combination of solid phase extraction, automated dialysis and HPLC for blood uremic toxin analysis**

International Symposium on Hyphenated Techniques in Chromatography HTC 4, Hyphenated Chromatographic Analyzers, Antwerpen, Belgium (1996.2)

新谷英晴: **ISO/TC198 東京国際会議報告 WG4, 生物指標**

第7回医用器材研究会 (1996.3)

Shintani, H.: **How to attain appropriate condition for blood urea analysis**

Invited presentation at Korean Institute of Science Technology (1996.4)

Shintani, H.: **Several parameters affecting to D value of biological indicator**

31st Annual AAMI Meeting & Exposition, Philadelphia, PA (1996.6)

Shintani, H.: **Newly toxic compounds detection and determination from dental material**

Preparative chromatography, Ion exchange, adsorption/desorption process, and related separation techniques, Washington (1996.5)

Shintani, H.: **Automated system of solid phase extraction for toxic compound analysis**

Washington chromatography discussion group, Washington (1996.5)

林 譲, 松田りえ子: **分析機器から得られる観測量の確率的性質について 測定によって区別できる最小濃度差について**

日本分析化学会第44年会 (1995.9)

林 譲, 松田りえ子: **分析機器から得られる観測量の確率的性質について 分析値は正規分布を示すか?**

日本分析化学会第44年会 (1995.9)

- 林 讓, 松田りえ子: 定量分析の精度を予測するための
コンピュータソフトの開発
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)
- 松村年郎, 関田 寛, 安藤正典, 希代 誠*: パラジクロ
ロベンゼンの室内および個人暴露濃度の測定結果について
第 1 回室内空気研究大会 (1995. 9)
* ガステック㈱
- 松村年郎: 化学物質による室内汚染について
第 36 回大気環境学会 (旧称・大気汚染学会) (1995. 11)
- 松村年郎, 関田 寛, 安藤正典, 希代 誠*: 化学物質に
よる室内汚染 (16) 室内空気中の酸性ガスの定量法の検討
とそのアプリケーションについて
第 36 回大気環境学会 (1995. 11)
* ガステック㈱
- 松村年郎, 関田 寛, 安藤正典: 化学物質による室内汚染
(17) 室内空気中の有機リン化合物の定量法の検討とその
アプリケーションについて
第 36 回大気環境学会 (1995. 11)
- 松村年郎, 関田 寛, 安藤正典, 渡辺文雄*: 化学物質に
よる室内汚染 (18) NO₂ 測定用パッシドジチューブの開発
第 36 回大気環境学会 (1995. 11)
* ガステック㈱
- 村松 学*¹, 松村年郎, 岡本繁雄*²: 都立学校の空気環境
調査について
第 36 回大気環境学会 (1995. 11)
*¹ 武蔵野女子大学
*² 日本大学薬学部
- 徳永裕司, 木嶋敬二, 安藤正典: メチルパラベン, エチル
パラベンおよびサリチル酸を透過指標物質とした界面活性
剤の剥離皮膚への影響
第 32 回全国衛生化学技術協議会年会 (1995. 11)
- 徳永裕司, 木嶋敬二, 安藤正典: メチルパラベン, エチル
パラベンあるいはサリチル酸を透過指標物質とした非イオ
ン性界面活性剤のポリオキシエチレン (EO) 鎖の剥離皮
膚への影響
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)
- 内野 正, 木嶋敬二, 安藤正典: ヘマトポルフィリン—
UVA 増感の赤血球中の過酸化脂質および溶血に与える影
響
第 3 回生体パーオキサイド研究会 (1995. 5)
- 内野 正, 木嶋敬二, 安藤正典: 3 次元培養細胞 (skin²)
に対する UVA の影響
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)
- 埴岡伸光, 神野透人, 西村哲治, 安藤正典: トルエン代謝
に関与するイヌ肝ミクロゾームのシトクロム P450 分子種
第 4 回環境化学討論会 (1995. 6)
- 石井祐次*, 鶴田和興*, 高見篤子*, 埴岡伸光, 小栗一
太*: Gunn ラットにおける Phenobarbital 誘導性 p-
Nitrophenol UDP-グルクロン酸転移酵素の欠損につい
て
第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)
* 九州大学薬学部
- 西村哲治, 相澤貴子*, 埴岡伸光, 神野透人, 眞柄泰基*,
安藤正典: イソプロチオラン塩素処理副生成物の細胞毒性
と遺伝毒性
第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)
* 国立公衆衛生院
- 神野透人, 埴岡伸光, 西村哲治, 安藤正典: ジフェニルエ
ーテル系除草剤による培養ラット肝細胞の薬物代謝酵素誘
導
第 1 回エコトキシコロジー研究会・バイオアッセイ研究会
合同研究発表会 (1995. 9)
- 神野透人, 西川佐和子*, 埴岡伸光, 与田玲子*, 西村哲治,
安藤正典: ジフェニルエーテル系除草剤の変異原性と肝細
胞毒性
第 21 回環境トキシコロジーシンポジウム (1995. 10)
* 共立薬科大学
- 西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 安藤正典: バイオアッセ
イによる水道水質の安全性評価
第 32 回全国衛生化学技術協議会年会 (1995. 11)
- 西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 安藤正典, 相澤貴子*,
眞柄泰基*: マウス白血病細胞を用いた塩素処理副生成物
の遺伝子毒性評価
第 30 回日本水環境学会年会 (1996. 3)
* 国立公衆衛生院
- 西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 安藤正典: マウスリンフ
ォーマ試験による水環境中の化学物質の評価法の検討
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)
- 神野透人, 西川佐和子*, 埴岡伸光, 西村哲治, 与田玲子*,
安藤正典: イソプロチオランの消毒副生成物であるクロロ
マロン酸ジイソプロピルの肝細胞毒性
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)
* 共立薬科大学
- 土屋悦輝*¹, 大橋則雄*¹, 安藤正典, 西村哲治, 内海英
雄*², 中室克彦*³, 広瀬義文*⁴, 深沢喜延*⁵, 吹野秀危*⁶,
伏脇裕一*⁷, 森 康明*⁸: 環境試験法・水質試験法・アンチ
モンおよびセレン
日本薬学会第 116 年会・公衆衛生協議会 (1996. 3)
*¹ 東京都立衛生研究所
*² 九州大学薬学部
*³ 摂南大学薬学部
*⁴ 埼玉県衛生研究所
*⁵ 山梨県衛生研究所
*⁶ 環境管理センター
*⁷ 神奈川県環境センター
*⁸ 神奈川県衛生研究所
- 土屋悦輝*¹, 大橋則雄*¹, 安藤正典, 西村哲治, 内海英
雄*², 中室克彦*³, 広瀬義文*⁴, 深沢喜延*⁵, 吹野秀危*⁶,
伏脇裕一*⁷, 森 康明*⁸: 環境試験法・水質試験法・トリハ
ロメタン生成能

日本薬学会第116年会・公衆衛生協議会 (1996.3)

- *1 東京都立衛生研究所
- *2 九州大学薬学部
- *3 摂南大学薬学部
- *4 埼玉県衛生研究所
- *5 山梨県衛生研究所
- *6 環境管理センター
- *7 神奈川県環境センター
- *8 神奈川県衛生研究所

西村哲治, 相澤貴子*, 埴岡伸光, 神野透人, 眞柄泰基*, 安藤正典: 哺乳動物細胞を用いた水道水質の安全性評価
第47回全国水道研究発表会 (1996.5)

* 国立公衆衛生院

中川順一*1, 西村哲治, 高木博夫*2, 高橋清*3, 島垣純*4, 沖恒二*5, 梶正一*6, 寺嶋勝彦*7, 木村繁夫*8: **CNP代替農薬の分析方法**
第47回全国水道研究発表会 (1996.5)

- *1 東京都立衛生研究所
- *2 国立環境研究所
- *3 仙台市水道局
- *4 東京都水道局
- *5 横浜市水道局
- *6 大阪府水道局
- *7 大阪市水道局
- *8 福岡県南広域水道事業団

岡和子*, 神野透人, 細末次郎*, 埴岡伸光, 加納茂*, 西村哲治, 水藤正道*, 安藤正典: **GC/MSによるアルデヒド類分析法の検討**
第47回全国水道研究発表会 (1996.5)

* 広島市衛生研究所

豊田正武: **アフラトキシンの分析法の改良**
マイコトキシン研究会第42回学術講演会 (1996.1)

豊田正武, 宮原誠, 穂山浩, 斎藤行生: **簡易型高感度濁度計および液中微粒子計数器による市販ミネラルウォーター中微粒子の計測**
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)

松田りえ子, 林譲, Russell B. Poe, 佐々木久美子, 斎藤行生: **分析機器から得られる観測量の確率的性質について; キャピラリー電気泳動の精度向上のための方法**
日本分析化学会第44年会 (1995.9)

松田りえ子, 林譲, 佐々木久美子, 斎藤行生: **分析機器から得られる観測量の確率的性質について; 検量線から逆推定される定量値の確率論**
日本分析化学会第44年会 (1995.9)

松田りえ子, 林譲, 佐々木久美子, 斎藤行生: **検量線によって推定された試料濃度の信頼性について III. 標準添加法のデザインと精度について**
日本薬学会第116年会 (1996.3)

高附巧, 佐々木久美子, 斎藤行生: **有機リン系農薬28種の一斉分析法の検討**
第32回全国衛生化学技術協議会年会 (1995.11)

五十嵐敦子, 佐々木久美子, 斎藤行生: **食品汚染物質モニタリングデータの解析 (1) —魚体重差における汚染状況について—**
第32回全国衛生化学技術協議会年会 (1995.11)

Suzuki, T., Yamada, H.*1, Yamamoto, I.*2, Saito, Y.: **Molecular Species of Organotin Compounds in the Seawater and their Seasonal Variations**
41st International Conference on Analytical Sciences and Spectroscopy (August 16, 1995, Windsor, Canada)

*1 National Research Institute of Fisheries Sciences
*2 Division of Food, Hokkaido Institute of Public Health

Murayama, M., Saito, Y.: **Official analytical method for residual antiparasitic drugs in animal products**
15th International Conference of the World Association for the Advancement of Veterinary Parasitology, Yokohama, Japan (1995.9)

清水孝重*1, 加藤喜昭*1, 中村幹雄*1, 三浦博史*2, 北村美江*2, 溝辺圭子*2, 渡邊正己*2, 池永敏彦*2, 米谷民雄, 合田幸広: **ハマボウフウ (*Glehnia littoralis*) 培養細胞のアントシアニン生産性と生産色素の構造**
日本食品化学学会第2回総会学術大会 (1996.5)

*1 三栄源 FFI (株)
*2 長崎大学薬学部

合田幸広, 中村裕道, 坂元史歩, 米谷民雄: **トウガラシ色素成分の光安定性について**
日本食品化学学会第2回総会学術大会 (1996.5)

山田真記子*, 加藤喜昭*, 中村幹雄*, 合田幸広, 米谷民雄, 山田隆: **食用赤色2号中の不純物とその実態調査**
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)
* 三栄源 FFI (株)

Miyahara, M., Akiyama, H., Toyoda, M. and Saito, Y.: **Some Phytochemicals in Vegetables as Potent Inhibitors of Human DNA Topoisomerase II**
International Conference on Food Factors: Chemistry and Cancer Prevention, Hamamatsu (1995)

Miyahara, M., Akiyama, H., Narui, T.*1, Toyoda, M., Okuyama, T.*2 and Saito, Y.: **Anthraquinones and Flavonoids in Food as Potent Inhibitors of Human DNA Topoisomerase II**
1995 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Honolulu (1995)
* 明治薬科大学

宮原誠, 穂山浩, 豊田正武, 斎藤行生: **レーザー蛍光検出器を用いるオルトチロシンの分析**
日本薬学会第116年会 (1996.3)

穂山浩, 宮原誠, 豊田正武, 斎藤行生: **固相抽出法を用いたピーナッツ等中のアフラトキシンの迅速定量法**
日本食品衛生学会第70回学術講演会 (1995.10)

穂山浩, 宮原誠, 豊田正武, 斎藤行生: **食品および飼料中のフモニシン分析について**

第 32 回全国衛生化学技術協議会年会 (1995. 11)

穂山 浩, 手島玲子, 豊田正武, 澤田純一, 斎藤行生, 神田智正*, 柳田顕郎*, 田辺正行*: リンゴ未熟果実ポリフェノールの RBL-2H3 細胞株における細胞内カルシウム濃度上昇の抑制

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

*¹ ニッカウキスキー(株)

穂山 浩, 豊田正武, 斎藤行生, 植木銘衣子*¹, 神田智正*², 柳田顕郎*², 田辺正行*²: I 型アレルギーモデルを用いた試験によるリンゴ未熟果実ポリフェノールの抗アレルギー活性の評価

日本食品衛生学会第 71 回学術講演会 (1996. 5)

*¹ 共立薬科大学

*² ニッカウキスキー(株)

西島基弘*, 伊藤誉志男, 加藤嘉昭*, 川名清子*, 斎藤和夫, 白石隆幸*, 鈴木 忍*, 成田弘子*, 浜野 孝*, 本間浩*, 山田 隆, 渡部健二郎*: D-ソルビトール, D-マンニトールおよびキシリトール: イオンクロマトグラフィーによる定性および定量

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* 日本薬学会衛生試験法部会 食品添加物専門委員会

太田光恵*, 成田美加子*, 三好智子*, 糸山智子*, 木村実加*, 小林美穂*, 越智礼子*, 関口幸弘*, 鯉口 智*, 平原嘉親*, 長谷川真住*, 宮田昌弘*, 鎌倉和政*, 前田憲二*, 乙益道隆*, 石綿 肇: GC および GC/MS によるチューインガム中の酸化防止剤 (BHA, BHT, TBHQ) の同時分析法の検討

日本食品衛生学会第 70 回学術講演会 (1995. 10)

* 神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター

米谷民雄, 鈴木資子, 久保田浩樹, 山田 隆: アルミニウムをマルトールとともに投与した時の肝中タウリンの減少第 7 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (1995. 6)

米谷民雄, 久保田浩樹, 山田 隆: HPLC-ICP 直結法によるカラメル色素中イオウの存在状態の分析

日本食品化学学会第 1 回総会学術大会 (1995. 7)

米谷民雄, 久保田浩樹, 鈴木資子, 山田 隆: 真空型 ICP 発光分析法によるイオウ含量を指標とした市販カラギナン類の識別

第 32 回全国衛生化学技術協議会年会 (1995. 11)

山田真記子*, 加藤喜昭*, 中村幹雄*, 合田幸広, 米谷民雄: 食用黄色 5 号中の不純物について

日本食品化学学会第 1 回総会学術大会 (1995. 7)

* 三栄源 FFI(株)

合田幸広, 坂元史歩, 中西俊元, 米谷民雄, 山田 隆: パブリカ (トウガラシ) 中の主色素成分の構造について

日本食品化学学会第 1 回総会学術大会 (1995. 7)

山田真記子*, 加藤喜昭*, 中村幹雄*, 合田幸広, 米谷民雄, 山田 隆: 食用赤色 102 号中の不純物について

日本食品衛生学会第 70 回学術講演会 (1995. 10)

* 三栄源 FFI(株)

合田幸広, 坂元史歩, 中村裕道, 米谷民雄, 山田 隆: トウガラシ中のカプサンチンのエステル化について第 9 回カロテノイド研究談話会 (1995. 11)

Goda, Y., Sakamoto, S., Nakanishi, T., Nakamura, H., Maitani, T., and Yamada, T.: Esterified carotenoids in *Capsicum oleoresin*

2nd International Congress and Symposium on Natural Colorants, Acapulco, Mexico (1996. 1)

佃 昌俊*, 合田幸広, 千野 誠*, 武田明治*: 食用青色 1 号に含まれる付随色素 (副成色素) について

日本食品科学工学会第 43 回大会 (1996. 3)

* 日本大学農獣医学部

佐藤恭子, 合田幸広, 柴田 博, 坂元史歩, 米谷民雄, 山田 隆: 市販ベニコウジ色素の主色素成分の構造

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

佐藤恭子, 坂元史歩, 柴田 博, 合田幸広, 米谷民雄: 市販ベニコウジ色素の分析

日本食品化学学会第 2 回総会学術大会 (1996. 5)

Ishikawa, K.*¹, Janos, T.*¹, Sakamoto, S., Goda, Y., and Nunomura, O.*²: The genetic analysis of capsaicinoids contents in *Capsicum annum L.*, *C. chinense Jacq.* and their backcross generation

IXth Meeting on Genetics and Breeding on Capsicum and Eggplant, Budapest, Hungary (1995. 8)

*¹ Chiba University

*² Nihon Horticultural Production Institute

久保田浩樹, 佐藤恭子, 米谷民雄, 山田 隆: Gly 欠損型フィトケラチンの誘導に対するグルタチオンおよび γ -グルタミルシステインの影響

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

久保田浩樹, 佐藤恭子, 山田 隆, 米谷民雄: 色素産生植物培養細胞での Fe によるフィトケラチンの誘導能について

第 8 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (1996. 5)

河村葉子, 杉田たき子, 山田 隆, 斎藤行生: Half-embryo test による照射柑橘類検知法の collaborative study について

日本食品照射研究協議会第 31 回大会 (1996. 1)

河村葉子: 照射食品の検知技術

第 6 回放射線プロセスシンポジウム (1996. 1)

辰濃 隆*, 河村葉子, 杉田たき子, 大出 譲*, 風間成孔*, 小松美博*, 里見弘治*, 高橋 明*, 中澤裕之*, 中村好志*, 西村正美*, 馬場二夫*, 平山クニ*, 渡辺悠二*: アミン類; ガスクロマトグラフィーによる定性および定量

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* 日本薬学会衛生試験法部会 容器・包装専門委員会

河村葉子, 三浦麻記子, 杉田たき子, 山田 隆, 武田明治*: 高速液体クロマトグラフィーによるポリエチレン中

の酸化防止剤および紫外線吸収剤の一斉分析法

日本食品化学学会第2回学術大会 (1996.5)

* 日本大学農獣医学部

宮田直樹：ニトロ多環芳香族炭化水素の化学反応と毒性発現機構

未規制大気汚染物質の挙動と毒性—発がん関連物質シンポジウム (1995.6)

世良暢之*¹, 常盤寛*², 山越葉子, 宮田直樹：C60と発がん物質との相互作用：突然変異誘発能の抑制
第9回フラーレン総合シンポジウム (1995.7)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² 九州女子大

栗原正明, 袴田 航, 宇賀神正代, 伊東幸子, 堤のぞみ, 宮田直樹：ジオキシランを用いた立体選択的エポキシ化反応

第21回反応と合成の進歩シンポジウム (1995.11)

大森清美*, 岸美知子*, 中岡正吉*, 宮田直樹：ニトロアレーン類の変異原性に及ぼすナフトキノンの影響
日本環境変異原学会第24回大会 (1995.11)

* 神奈川県衛生研究所

世良暢之*¹, 常盤 寛*², 山越葉子, 宮田直樹：フラーレンの突然変異誘発機構の解析

日本環境変異原学会第24回大会 (1995.11)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² 九州女子大

Tanno, M., Sueyoshi, S., and Miyata, N.: Solid-State Thermolysis of Aromatic N-Nitrosoureas: Selective Formation of Nitric Oxide and Triazene

1995 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (1995.12)

宮田直樹, 丹野雅幸, 末吉祥子：NOの基礎：NO発生化合物

第27回放医研シンポジウム (1995.12)

Tokiwa, H.*¹, Sera, N*², and Miyata, N.: Singlet Oxygen Generated by Fullerenes; Mechanism of Lipid Peroxidation and Mutagenicity

International Conference on Food Factors: Chemistry and Cancer Prevention (1995.12)

*¹ Kyushu Women's Univ.

*² Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

山越葉子, 山崎恵美子, 末吉祥子, 宮田直樹：光照射下におけるC60の溶血作用

第10回フラーレン総合シンポジウム (1996.1)

世良暢之*, 高田 智*, 近藤隆一郎*, 坂井克己*, 山越葉子, 宮田直樹：白色腐朽菌 *Phanerochaete chrysosporium* によるフラーレンの分解

第10回フラーレン総合シンポジウム (1996.1)

* 福岡県保健環境研究所

丹野雅幸, 末吉祥子, 宮田直樹：一酸化窒素発生化合物の設計, 合成, 作用解析

高度化推進 (大学院重点) 特別経費公開シンポジウム (1996.3)

宮田直樹：スーパーオキシドの発生・反応・消去—毒物化学の立場から—

12th Clinical Conference on Free Radicals (1996.3)

栗原正明, 亀田まり, 宮田直樹：ジオキシランを用いたアリルアルコール誘導体のエポキシ化反応

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

Pathak, Ashish K., 林 多恵子, 栗原正明, 宮田直樹：光学活性ジオールを用いた不斉アセタール化反応

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

末吉祥子, 丹野雅幸, 宮田直樹：アミドオキシム誘導体の一酸化窒素発生能

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

丹野雅幸, 末吉祥子, 宮田直樹：芳香族 N-ニトロソ化合物の固体状態における熱分解：トリアゼンと一酸化窒素の選択的生成反応

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

山越葉子, 矢上 健, 末吉祥子, 宮田直樹：アクリジン残基を有する [60] フラーレン誘導体の合成

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

小林茂樹*, 浜島 肇*, 小林拓軌*, 圧地なほみ*, 石井耀子*, 田中 彰*, 宮田直樹：平行二重鎖ペプチド類縁体の MIC 値より得られる構造-活性相関について

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

* 昭和薬科大学

小林茂樹*, 中村嘉秀*, 浜島 肇*, 新井武利*, 田中彰*, 宮田直樹：制ガン剤シスプラチン結合 DNA と DNA トポイソメラーゼ作用について

日本薬学会 116 年会 (1996.3)

* 昭和薬科大学

宮田直樹, 山越葉子, 末吉祥子, 世良暢之*¹, 常盤寛*²：光照射下における C60 の生物作用：活性酸素種による生体分子損傷反応の解析

第18回磁気共鳴医学会 (1996.5)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² 九州女子大

中島 治, 蜂須賀暁子, 山崎 壯, 澤田純一：オピオイド結合タンパク (OBCAM) の cDNA クローニングと大腸菌における発現

第68回日本生化学会大会 (1995.9)

斎藤嘉朗, 山崎 壯, 池淵秀治, 澤田純一：プロテアーゼによるヒト成長ホルモン結合蛋白の放出

第68回日本生化学会大会 (1995.9)

Saito, Y., Teshima, R., Yamazaki, T., Ikebuchi, H., and Sawada, J.: Ligand-Induced Internalization and Phosphorylation-Dependent Degradation of Human

Growth Hormone Receptor

9th International Conference on Second Messengers & Phosphoproteins, Nashville, Tennessee, USA (1995. 10)

池淵秀治, 斎藤嘉朗, 田中東一, 手島玲子, 澤田純一, 二本芳人*¹, 一戸正勝*²: **A. Fumigatus 抗原によるアレ르기ー診断の簡易測定法について**
第 29 回日本医真菌学会 (1995. 10)

*¹ 川崎医科大学

*² 東京家政大学

Teshima, R., Ikebuchi, H., Kitani, S.*¹, Furuno, T.*², Nakanishi, M.*², and Sawada, J.: **Stimulatory effects of pervanadate on calcium signals, histamine secretion and CD63 antigen expression in RBL-2H3 cells**

9th International Congress of Immunology, San Francisco, California, USA (1995. 7)

*¹ University of Tokyo

*² Nagoya City University

Furuno, T.*, Teshima, R., and Nakanishi, M.*: **Confocal fluorescence microscopy for studying the surface expression of CD63 antigen in rat basophils and mast cells**

9th International Congress of Immunology, San Francisco, California, USA (1995. 7)

* Nagoya City University

Teshima, R., Akasaka, R., Saito, Y., Ikebuchi, H., Sawada, J., Kitajima, S., Momma, J., Inoue, T., and Kurokawa, Y.: **Emptying of intracellular calcium stores by some hydroquinones permits degranulation of RBL-2H3 cells in the presence of phorbol ester**

9th International Conference on Second Messengers & Phosphoproteins, Nashville, Tennessee, USA (1995. 10)

手島玲子, 斎藤嘉朗, 池淵秀治, 澤田純一, 中西 守*: **変異 IgE 受容体導入肥満細胞の蛋白質チロシンリン酸化反応の解析**

第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)

* 名古屋市立大学薬学部

今井優樹*¹, 古野忠秀*¹, 手島玲子, 澤田純一, 木谷誠一*², 中西守*¹: **抗 CD63 抗体を用いた脱顆粒反応の画像解析**

第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)

*¹ 名古屋市立大学薬学部

*² 東京大学医学部

赤坂玲子, 北嶋 聡, 門馬純子, 井上 達, 黒川雄二, 手島玲子, 池淵秀治, 澤田純一: **好塩基球細胞からの脱顆粒反応への種々の抗酸化剤の影響について**

第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)

古野忠秀*¹, 手島玲子, 今井優樹*¹, 木谷誠一*², 澤田純一, 中西守*¹: **肥満細胞の脱顆粒反応と CD63 (AD1) 抗原の動態**

第 17 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (1995. 10)

*¹ 名古屋市立大学薬学部

*² 東京大学医学部

手島玲子: **種々の化学物質による培養ラット好塩基球細胞からの脱顆粒 (ヒスタミン遊離) の促進について**
第 9 回日本動物実験代替法学会 (1995. 11)

赤坂玲子, 手島玲子, 池淵秀治, 澤田純一: **好塩基球細胞の Ca²⁺ 応答および leukotriene C₄ 遊離に対する 3 種の Ca²⁺-ATPase 阻害剤の影響**
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

古野忠秀*, 今井優樹*, 中西 守*, 手島玲子, 澤田純一: **IgE レセプター導入肥満細胞を用いた画像解析法による脱顆粒反応の研究**

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* 名古屋市立大学薬学部

鈴木真弓*, 古野忠秀*, 中西 守*, 手島玲子, 澤田純一: **PC12 細胞の神経突起の伸長とカルシウムシグナル**
日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* 名古屋市立大学薬学部

鈴木和博, 山口照英, 田中寿一, 川西 徹, 最上(西巻)知子, 山本一夫*, 辻 勉*, 入村達郎*, 早川堯夫, 高橋 惇: **分化型 HL-60 細胞の活性化時におけるコフィリンの脱リン酸化と膜への移行**

第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)

* 東京大学薬学部

Suzuki, K., Yamaguchi, T., Tanaka, T., Nishimaki-Mogami, T., Kawanishi, T., Yamamoto, K.*, Tsuji, T.*, Irimura, T.*, Hayakawa, T., and Takahashi, A.: **Activation induces dephosphorylation of cofilin and its translocation to plasma membranes in neutrophil-like HL-60 cells**

9th International Conference on Second Messengers & Phosphoproteins, Nashville, Tennessee, USA (1995. 10)

* 東京大学薬学部

最上(西巻)知子, 鈴木和博, 大河内江里子, 高橋 惇: **ホスファチジルエタノールアミン N-メチル化を介する肝細胞からの VLDL 分泌調節機構**
第 68 回日本生化学会大会 (1995. 9)

大河内江里子, 最上(西巻)知子, 鈴木和博, 高橋 惇: **Perfluorooctanoic acid による肝細胞からの VLDL 分泌の低下**

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

三瀬勝利: **製剤原料の微生物限度試験法**

第 7 回生薬漢方製剤の微生物および異物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (1995. 11)

三瀬勝利: **非無菌製剤の品質保証のための微生物限度試験**
第 14 回環境殺菌分野事例研究会 (1996. 1)

安住聡子, 小島保彦*¹, 高橋徹*¹, 谷村顕雄*², 棚元憲一: **桂皮中に存在する内毒素活性抑制物質の性状と作用機構**

第 42 回日本生薬学会年会 (1995. 9)

*¹ 山之内製薬・健康科学研

*² 昭和女子大

棚元憲一, 配島由二, 隅田泰生*, 深瀬浩一*, 楠本正一*: 内毒素アタゴニスト構造誘導を決定する構造因子の解析

第69回日本細菌学会総会 (1996.3)

* 大阪大学理学部

安住聡子, 谷村顕雄*, 棚元憲一: 桂皮中に存在する内毒素活性抑制物質は抗菌活性を有する

第69回日本細菌学会総会 (1996.3)

* 昭和女子大

加藤仁美, 配島由二, 飯田貴敏, 田中 彰*, 棚元憲一: 低毒性リピド A におけるハイブリッドバックボーンの特徴

第69回日本細菌学会総会 (1996.3)

* 昭和薬科大学

加藤仁美, 安住聡子, 配島由二, 田中 彰*, 棚元憲一: 低毒性 *Flavobacterium meningosepticum* リピド A の特徴的な生物活性

第68回日本細菌学会総会 (1996.3)

* 昭和薬科大学

熊田秀文, 中務朝紀*, 梅本俊夫*, 配島由二, 棚元憲一: *Selenomonas sputigena* リピド A の構造解析

第69回日本細菌学会総会 (1996.3)

* 神奈川歯科大

細瀬和成*, 配島由二, 棚元憲一: $^{60}\text{Co}-\gamma$ 線によるエンドトキシンの不活化

第23回日本防菌防微学会年次大会 (1996.5)

* 東京都立アイソトープ総合研究所

Kobatake, M., Sato, A.*¹, Tonogai, Y., Tumura, Y., Ito, Y.*² and Terao, M.*³: Production of styrene by yeasts from foods

7th International Symposium on Microbial Ecology, Santos, Saõ Paulo, Brazil (1995.8)

*¹ 新潟県立女子短期大学

*² 現, 武庫川女子大学薬学部

*³ 新潟県立衛生公害研究所

Sato, A.*¹, Kobatake, M., Tonogai, Y., Tumura, Y., Ito, Y.*² and Terao, M.*³: Antifungal effect of garlic extract against styrene-producing yeasts

7th International Symposium on Microbial Ecology, Santos, Saõ Paulo, Brazil (1995.8)

*¹ 新潟県立女子短期大学

*² 現, 武庫川女子大学薬学部

*³ 新潟県立衛生公害研究所

宮原美知子, 小沼博隆, 三瀬勝利: *Staphylococcus aureus* (黄色ブドウ球菌) からの制限酵素の検索

日本食品衛生学会第70回学術講演会 (1995.10)

宮原美知子: 制限酵素 *StyD4I* 関連遺伝子の解析

第18回日本分子生物学会 (1995.12)

宮原美知子: DNA(cytosine-5)methyltransferase 産生遺伝子の検索

日本薬学会第116年会 (1996.3)

上田成子*¹, 安形則雄*², 小沼博隆, 品川邦汎*³, 桑原祥浩*¹: 精白米の *Bacillus thuringiensis* に関する研究

日本防菌防微学会第22回年次大会 (1995.5)

*¹ 女子栄養大学

*² 名古屋市衛生研究所

*³ 岩手大学

上田成子*¹, 品川邦汎*², 小沼博隆, 桑原祥浩*¹: BT 剤散布後のキャベツ圃場における *Bacillus thuringiensis* の消長

第16回日本食品微生物学会学術総会 (1995.12)

*¹ 女子栄養大学

*² 岩手大学

小沼博隆: カット野菜の微生物汚染実態

日本食品衛生学会第69回学術講演会 (1995.5)

後藤公吉*¹, 栗原健志*², 今井忠平*², 小沼博隆, 品川邦汎*³: 卵殻表面採卵農場から GP (格付け・包装) センターまでの各工程での卵殻表面の細菌汚染

第16回日本食品微生物学会学術総会 (1995.12)

*¹ 新潟県衛生公害研究所

*² (株)キューピー

*³ 岩手大学

小沼博隆: 製造管理における衛生管理と品質保証—国際動向とわが国の現状

日本防菌防微学会環境殺菌分野事例研究会 (1996.1)

上野泰昭*¹, 上田成子*², 小沼博隆, 小野勝彦*¹, 品川邦汎*¹: 豆腐原料大豆と豆腐の *Bacillus thuringiensis* について

第121回日本獣医学会学術総会 (1996.4)

*¹ 岩手大学

*² 女子栄養大学

酒井綾子: BALB/3T3 細胞トランスフォーメーションに対するプロテインチロシンホスファターゼ阻害剤, パナジン酸塩の作用

第54回日本癌学会総会 (1995.10)

末岡榮三郎*¹, 岡部幸子*¹, 菅沼雅美*¹, 小森敦正*¹, 末岡尚子*¹, 坂井雄三*¹, 酒井綾子, 藤木博太*¹: 内因性発癌プロモーター, TNF- α の標的臓器における発現と発癌プロモーション活性

第54回日本癌学会総会 (1995.10)

*¹ 埼玉がんセンター研究所

酒井綾子, 山越葉子, 宮田直樹: 光照射による C₆₀ の細胞毒性の発現とトランスフォーメーション活性

第10回フラーレン総合シンポジウム (1996.1)

松谷佐知子: IS114B 蛋白質の IS DNA と転移ホットスポットへの距離依存的な作用

第18回日本分子生物学会年会 (1995.12)

高鳥浩介, 朴鍾吉吉, 鈴木明子, 成田紀子, 齊藤紀子*: *Cladosporium* のプラスチック類への汚染

第69回日本食品衛生学会 (1995.5)

* 東京農業大学

太田利子*, 鈴木明子, 成田紀子, 高鳥浩介: **衣服に付着する真菌アレルゲンの分布**
第22回日本防菌防黴学会年次大会 (1995. 5)

* 相模女子大学

Takatori, K., Park, J.-C., Lee, H.-J.*¹, Ohta, T.*², Yasueda, H.*³, Akiyama, K.*³: **Fungal allergens in house dust and the allergenicity**
第3回日中国際真菌学会議 (1995. 9)

*¹ (財)食品薬品安全センター

*² 相模女子大学

*³ 国立相模原病院

中田琴子: **神経回路網によるタンパク質の二次構造予測**
第33回日本生物物理学会年会 (1995. 9)

Nakata, K.: **Receptor Database Representation Genome Informatics Workshop VI**
Yokohama (1995. 12)

Nakata, K.: **Protein Secondary Structure Analysis International Workshop on Structural Biology of DNA, RNA and Proteins**
Tsukuba (1996. 3)

中野達也, 長谷川式子, 山本 都, 神沼二真, 平山令明*¹, 川出 達*²: **構造情報と相互作用情報を有する医薬品データベースの開発**
日本薬学会第116年会 (1996. 3)

*¹ 東海大学開発工学部

*² データインデックス(株)

大竹千代子, 中野達也, 神沼二真: **インターネットによる化学物質安全性情報の案内システムの開発**
第25回ドクメンテーション・シンポジウム (1995. 6)

Sekizawa J., Takei R.*¹, Shimai S.*², Sugimori S.*³: **Risk communication on consumer chemical products Abstracts of Annual Meeting of Society for Risk Analysis and the Japan Section of SRA** (1995. 12)

*¹ ライオン(株)

*² 神戸女学院大学

*³ 東京家政大学

Sekizawa J., Yamagami T.*¹, Ohmura E.: **Environmental risk assessment of pesticides using an integrated database system**
Abstracts of International Workshop on Chemical Safety Research. (1996. 1)

*¹ 東京農業大学

関沢 純, 中村幸二*¹, 吉田喜久雄*²: **農薬の環境動態予測へのPRZMモデルのわが国での適用**
日本農薬学会第21回大会 (1996. 3)

*¹ 埼玉県農業試験場

*² 三菱化学安全科学研究所

Igarashi, T., Nadaoka, Y.*¹, and Kaminuma T.: **A data**

and knowledge base for cell signaling networks
Genome Informatics Workshop VI, Yokohama, Japan (1995. 12)

* Tokyo Metro.Inst.of Medical Science

五十嵐貴子, 灘岡陽子*¹, 石川恵司*², 神沼二真: **インターネット上の分散データベースとしてのWWWとCSN-DBの統合**
第18回情報化学討論会 (1996. 11)

*¹ (財)都臨床研

*² (株)アドイン研究所

灘岡陽子*¹, 石川恵司*², 五十嵐貴子, 福島佐知子*³, 山口明美*³, 細矢治夫*³, 神沼二真: **インターネット上の分散データベースとしてのWWWとSybaseの統合**
第18回情報化学討論会 (1996. 11)

*¹ (財)都臨床研

*² (株)アドイン研究所

*³ お茶の水大学

黒川雄二: **教育講演: 毒性試験法の国際的動向—OECD, ICHなどの動きを中心に**
第4回日本毒科学会サテライトシンポジウム (1995. 7)

Kurokawa, Y.: **Internatinal harmonization of toxicology requirements for pharmaceuticals—Male fertility VIIth International Congress of Toxicology** (1995. 7)

梅村隆志, 佐井君江, 長谷川隆一, 黒川雄二: **臭素酸カリウム投与によるラット腎DNA中の8-hydroxydeoxy-guanosine生成における性差について**
第54回日本癌学会総会 (1995. 10)

梅村隆志, 長谷川隆一, 加藤君江, 井上 達, 西川秋佳, 古川文夫, 高橋道人, 内田浩二*¹, 豊國伸哉*², 黒川雄二: **鉄ニトリロ三酢酸が引き起こすラット腎酸化的ストレスに対するチオール化合物の抑制効果**
第12回日本毒性病理学会 (1996. 1)

*¹ 名古屋大学

*² 京都大学

Umemura, T., Hirabayashi, Y., and Inoue, T.: **Delayed expression of apoptosis after radiation exposure in the hemopoietic spleen colonies derived from p53-deficient mice**
Cancer Susceptibility Genes and Molecular Carcinogenesis; A Special Conference of American Association for Cancer Research (1996. 2)

梅村隆志, 内田雄幸, 内藤克司, 井上 達: **ベンズイミダゾール系ゴム酸化防止剤経口投与によるラット甲状腺および下垂体病変**
第85回日本病理学会総会 (1996. 4)

古坊真一*, 松本清司*, 小川幸男, 関田清司, 小野 敦, 降矢 強, 黒川雄二: **顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF) は新生児ラットの成長を抑制しなかった**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

* 信州大学医学部

小野 敦, 関田清司, 広瀬明彦, 小川幸男, 斉藤 実, 内

藤克司, 金子豊蔵, 降矢 強, 松本清司, 田中 悟, 黒川雄二: **Toluene 妊娠ラット吸入暴露による生殖発生毒性 I 胎児の器官形成期暴露試験**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

野村 護*, 海野 隆*, 守田伸子*, 長谷川浩之*, 林裕*, 松澤利明*, 関田清司, 小野 敦, 降矢 強, 黒川雄二, 林 裕造: **臨床病理検査に関するサンプルサーベイランス (1) 実施方法と血液学的検査成績**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

* 日本製薬工業協会

林 裕*, 海野 隆*, 長谷川浩之*, 松澤利明*, 野村護*, 関田清司, 齊藤 実, 降矢 強, 黒川雄二, 林 祐造: **臨床病理検査に関するサンプルサーベイランス (2) 血液化学的検査成績**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

* 日本製薬工業協会

関田清司: **強化効果に関する薬物相互作用**
第17回日本学術会議毒科学研連シンポジウム (1995. 7)

Suzuki, S., Ogawa, Y., Naito, K., Saitoh, M., Hirose, A., Kaneko, T., Kurokawa, Y.: **Biological Effects of 4 Rare Earth Metals the Vth COMTOX Symposium on Toxicology and Clinical Chemistry of Metals, Vancouver, British Columbia Canada** (1995. 7)

鈴木幸子, 小川幸男, 内藤克司, 齊藤 実, 広瀬明彦, 金子豊蔵, 井上 達, 黒川雄二: **微量生体内希土類元素の測定**
理研シンポジウム 生体微量元素 '96 (1996. 3)

金子豊蔵, 井上 達, 鈴木登志郎, 加藤利博, 杉山千生, 柿島 博, 中村恒彰, 辰見 寿, 萩野滋延, 門馬純子, 大野泰雄: **化粧品原料の安全性評価のための眼粘膜刺激性試験代替法の二次バリデーション (1) 計画および *in vivo* 試験結果**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

金子豊蔵, 門馬純子, 熊川順子, 井上 達, 大野泰雄, 鈴木登志郎, 柿島 博, 中村恒彰, 辰見 寿, 萩野滋延: ***in vivo* ウサギ眼粘膜刺激性試験における特性**
日本動物実験代替法学会第9回大会 (1995. 11)

熊川順子, 金子豊蔵, 門馬純子, 広瀬明彦, 川崎 靖, 鈴木幸子, 井上 達, 黒川雄二: **眼粘膜刺激性試験代替試験の評価基準となる Draize 評点の変動の解析**
日本動物実験代替法学会第9回大会 (1995. 11)

北嶋 聡, 津田充宥, 江下希美, 松島裕子, 齊藤 実, 門馬純子, 黒川雄二: **リポ多糖 (LPS) 投与ラットにおける血中および尿中 $\text{NO}_2^-/\text{NO}_3^-$ の著増と血液細胞数変動との相関について**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

北嶋 聡, 門馬純子, 津田充宥, 黒川雄二, 手島玲子, 澤田純一: **ラット株化好塩基球性白血球細胞による偽アレルギー反応系を用いた毒性評価の試み**
第2回免疫毒性研究会 (1995. 10)

Kitajima, S., Mitsumori, K., Kawashima, K., Imazawa, T., Onodera, H., Takahashi, M., Kurokawa, Y., and Inoue, T.: **Changes in the fine structure of the peripheral nerve endings of the rat caused by a single oral administration of a microsomal Ca^{2+} ATPase inhibitor, 2,5-di(*tert*-butyl)-1,4-hydroquinone**
1996 Keystone Symposia on Molecular & Cellular Biology; Neural Peptides (1996. 2)

北嶋 聡, 三森国敏, 川島邦夫, 今沢孝喜, 小野寺博志, 高橋道人, 黒川雄二, 井上 達: **小胞体 Ca^{2+} ATPase 阻害剤 2,5-ジ-*tert*-ブチル-1,4-ハイドロキノロン投与による, ラット末梢神経終末への影響**
第69回日本薬理学会年会 (1996. 3)

門馬純子, 北嶋 聡, 関口裕巳, 伊佐間和郎, 鹿庭正昭, 津田充宥, 澤田純一, 黒川雄二: **アルデヒド類のモルモットにおける皮膚感作性ならびに交差反応性の構造活性相関について**
第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

門馬純子, 北嶋 聡, 鹿庭正昭, 川島邦夫, 井上 達: ***p*-Phenylenediamine 系ゴム老化防止剤のモルモットにおける皮膚感作性ならびに交差反応性について**
第20回日本接触皮膚炎学会 (1995. 12)

加藤(佐井)君江, 梅村隆志, 長谷川隆一, 黒川雄二: **ペンタクロロフェノールによるマウス肝酸化的 DNA 損傷に対する抗酸化物質および緑茶の抑制効果**
第54回日本癌学会総会 (1995. 10)

長谷川隆一, 加藤(佐井)君江, 梅村隆志, 黒川雄二: **2-ニトロプロパンによるラット肝 DNA 酸化的損傷および肝毒性に対する緑茶の予防効果**
第54回日本癌学会総会 (1995. 10)

Sai-Kato, K., Umemura, T., Hasegawa, R., Inoue, T. and Kurokawa, Y.: **Oxidative DNA Damage in Mouse Liver Induced by Pentachlorophenol: Protective Effect of Antioxidants and Green tea**
Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology; Oxidant Stress; From Molecules to Man, Santa Fe, New Mexico (1996. 1)

甲斐幸恵*, 谷村顕雄*, 梅村隆志, 佐井君江, 長谷川隆一, 黒川雄二, 井上達: **ペンタクロロフェノールによるマウス肝の酸化的 DNA 損傷および細胞増殖に対する緑茶の予防効果**
第71回日本食品衛生学会学術講演会 (1996. 5)

* 昭和女子大学生生活機構研究科

田中 悟: **GLP (good laboratory practice) について**
第6回日本毒科学会・基礎教育研修会 (1995. 7)

田中 悟: **医薬品の三極調整生殖毒性検索試験法ガイドライン—考え方と特徴—**
第35回日本先天異常学会・教育講演 (1995. 7)

Nababe, S., Yamoto, T., Tanabe, K., Sehata, S., Kaneko, Y., Takaoka, M., Matsunuma, N., and Kodama, Y.: **An application of c-Ha-ras transgenic mice to the short-**

term carcinogenicity study

日本毒性病理学会毒性病理セミナー (1995. 5)

児玉幸夫: 実験動物施設の廃棄物処理について

第7回実験動物環境研究会 (1995. 12)

川島邦夫, 門馬純子, 高木篤也, 北嶋 聡: **CASA-System (HTM-IVOS) を用いた精子試験 I. α -chlorohydrin**

第22回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

川島邦夫, 門馬純子, 高木篤也, 北嶋 聡, 黒川雄二: **画像解析装置を用いた Nitrobenzene による精子運動性障害の検索**

第35回日本先天異常学会 (1995. 7)

平林容子, 井上 達, 三井秀昭*¹, 吉田和子*²: **実験的 P53 欠失骨髄細胞の造血器腫瘍発症リスク**

第84回日本病理学会総会 (1995. 4)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 放射線医学総合研究所平林容子, 三井秀昭*¹, 西中村隆一*², Richard Murray*³, 新井賢一*², 井上 達: **実験的サイトカイン受容体欠損症 -IL-3 レセプター共有 β 鎖 (β C) 欠失マウスにおける病態の特徴について**

第84回日本病理学会総会 (1995. 4)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 東京大学医科学研究所平林容子, 三井秀昭*¹, 松村啄也*¹, 松田 基*¹, 佐々木秀樹*¹, 新井賢一*², 横田 崇*², 宮島 篤*³, 吉田和子*⁴, 井上 達: **マウス IL-3 受容体各サブユニット遺伝子の機能と造血幹細胞制御**

第57回日本血液学会総会 (1995. 6)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 東京大学医科学研究所*³ 米国 DNAX 研究所*⁴ 放射線医学総合研究所松村啄也*^{1,2}, 平林容子, 三井秀昭 *¹, 松田 基*¹, 佐々木秀樹*¹, 倉本和直*³, 元吉和夫*², 吉田和子*⁴, 井上達: **プロモデオキシウリジン投与と近紫外照射を組み合わせた S 期細胞殺傷試験 (BrdUrd-UV cytocide 法) による造血幹細胞の細胞動態の研究: 老・若マウスの比較**

第57回日本血液学会総会 (1995. 6)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 防衛医科大学校*³ 東京都老人研*⁴ 放射線医学総合研究所松田 基*, 佐々木秀樹*, 松山秀介*, 平林容子, 三井秀昭*, 松村啄也*, 井上 達: **ヒト-c-myc 遺伝子導入マウスにおける造血幹細胞動態の解析**

第57回日本血液学会総会 (1995. 6)

* 横浜市立大学医学部

井上 達: **癌原性評価における新しい科学技術の導入**

第22回日本毒科学会学術年会ワークショップ(1995. 7)

Hirabayashi Y, Moriya N*¹, Matuda M*¹, MatsumuraT*¹, Mitsui H*¹, Yoshida K*², Sasaki H*¹, Aizawa S*³, Inoue T: **Lesser radiosensitivity and residual apoptotic damages: Radiation survival curve for hemopoietic stem cells (CFU) from the p53-deficient mice**

The 10th International Congress of Radiation Research (1995. 8)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 放射線医学総合研究所*³ 熊本大学Murray R*¹, Inoue T, Hirabayashi Y, Arai K*², Miyajima A*¹, Ninakamura R*²: **The in vivo role of cytokines in hemopoietic reconstitution and in response to infection**

The 24th Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology (1995. 8)

*¹ 米国 DNAX 研究所*² 東京大学医科学研究所Hirabayashi Y, Matuda M*¹, Matsumura T*¹, Mitsui H*¹, Sasaki H*¹, Tsukada T*², Aizawa S*², Yoshida K*³, Inoue T: **Delayed expression of radiation-apoptosis during proliferation of the irradiated hemopoietic stem-cell from the p53-deficient mice—possible relevance to radiation leukemogenesis**

The 24th Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology (1995. 8)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 熊本大学*³ 放射線医学総合研究所Sasaki H*¹, Matuda M*¹, Lu Y*¹, Ikuta K*¹, Matsuyama S*¹, Hirabayashi Y, Mitsui H*¹, Muramatsu M*², Tsukada T*³, Aizawa S*³, Inoue T: **Disruption of wild-type p53 gene caused resistance to TGF β inhibition in murine early hemopoietic progenitor cells**

The 24th Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology (1995. 8)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 東京大学医科学研究所*³ 熊本大学平林容子, 松田 基*¹, 松村啄也*¹, 三井秀昭*¹, 佐々木秀樹*¹, 塚田輝代*², 相澤慎一*², 吉田和子*³, 井上達: **P53 遺伝子欠失マウスの造血幹細胞に観察される放射線アポトーシス発現の遅延と放射線誘発腫瘍**

第54回日本癌学会総会 (1995. 10)

*¹ 横浜市立大学医学部*² 熊本大学*³ 放射線医学総合研究所Inoue T: **Regulatory and scientific experience with biothech products in Japan**

BTS/CMR Workshop (1995. 10)

Hirabayashi Y, Matsuda M*¹, Matsumura T*¹, Mitsui H*¹, Sasaki H*¹, Tsukada T*², Aizawa S*², Yoshida K*³, and Inoue T: **The p53-deficient hemopoietic stem cells: Their resistance to radiation-apoptosis, but lasted transiently**

The XVIII Symposium of the International Association for Comparative Research on Leukemia and Related Diseases (1995. 11)

- *1 横浜市立大学医学部
- *2 熊本大学
- *3 放射線医学総合研究所

Inoue T, Cronkite EP^{*1}, Hirabayashi Y, Bullis Jr. JE^{*1}, Mitsui H^{*2}, Umemura T: **Lifetime treatment of mice with AZT produces myelodysplasia**

The XVIII Symposium of the International Association for Comparative Research on Leukemia and Related Diseases (1995. 11)

- *1 米国国立ブルックヘブン研究所
- *2 横浜市立大学医学部

Yoshida K^{*1}, Inoue T, Matsumura T^{*2}, Hirabayashi Y, Nemoto K^{*1}, Sado T^{*1}: **Radiation-induced myeloid leukemia in mice under caloric restriction**

The XVIII Symposium of the International Association for Comparative Research on Leukemia and Related Diseases (1995. 11)

- *1 放射線医学総合研究所
- *2 横浜市立大学医学部

平林容子, 梅村隆志, 児玉幸夫, 相澤慎一*, 井上 達: **Li-Fraumeni 症候群モデルとして p53 欠失マウスにおける造血幹細胞の細胞動態と造血器腫瘍発生**
第12回日本疾患モデル学会総会 (1995. 11)

- *1 熊本大学

Inoue T: **Promotion of further safety research on biotechnology products**
ICH3 Safety Symposium (1995. 11)

平林容子, 松村琢也^{*1}, 倉本和直^{*2}, 松田 基^{*3}, 佐々木秀樹^{*3}, 吉田和子^{*4}, 梅村隆志, 井上 達: **プロモデオキシリジン投与と近紫外線を組み合わせた幹細胞動態解析法 (BUUV 法) の改良樹立によるいくつかの基本的条件下での幹細胞動態に関する新発見**
第58回日本血液学会総会 (1996. 4)

- *1 防衛医科大学校
- *2 横浜市立大学医学部
- *3 東京都老人研
- *4 放射線医学総合研究所

佐々木秀樹^{*1}, 陸 媛^{*1}, 生田孝一郎^{*1}, 船曳哲典^{*1}, 甲斐純夫^{*1}, 半沢典夫^{*1}, 関口晴之^{*1}, 松田 基^{*1}, 松山秀介^{*1}, 平林容子, 戸所一雄^{*2}, 井上 達: **巨核芽球系前駆細胞と巨核芽球性白血病細胞株に対する Thrombopoietin の増殖促進作用: 無血清培養による検討**
第58回日本血液学会総会 (1996. 4)

- *1 横浜市立大学医学部
- *2 理化学研究所筑波ライフサイエンス研究センター

平林容子, 松田 基*, 井上 達: **BrdUrd-UV cytocide (BUUV) 法を用いた骨髓造血幹細胞の細胞動態—ヒト c-myc 遺伝子導入マウスにおける特異な変化**
第85回日本病理学会総会 (1996. 4)

- *1 防衛医科大学校

井上 達, 小野 敦, 平林容子: **老化機構と造血幹細胞の老化**
第36回日本網内系学会総会 (1996. 5)

大野泰雄: **トキシコキネチクスと GLP, その意義と問題点**
日本 QA 研究会第4回行政部会総会講演会 (1995. 6)

大野泰雄: **トキシコキネチクスおよび反復投与組織分布試験について**
医薬品産業情報研究会 (PI フォーラム) ICH 研究分科会 (1995. 7)

大野泰雄, 金子豊蔵, 小林敏明^{*1}, 井上 達, 吉田武美^{*2}, 林 真, 門馬純子, 大野忠夫^{*3}, 藤井昭男^{*1}, 増田光輝^{*1}, 秋山純一^{*1}, 板垣 宏^{*1}, 大越健自^{*1}, 奥村秀信^{*1}, 柿島博^{*1}, 笠井裕^{*1}, 栗下昭弘^{*1}, 小島肇夫^{*1}, 西條 薫^{*3}, 坂本一民^{*1}, 杉浦秀次^{*1}, 高野勝弘^{*1}, 辰見 寿^{*1}, 谷尚子^{*1}, 千葉勝由^{*1}, 中村恒彰^{*1}, 松川清治^{*1}, 松重知保^{*1}: **化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法のバリデーション—計画および経過—**
第22回日本毒科学学会学術年会ミニシンポジウム1 (1995. 7)

- *1 日本化粧品工業連合会
- *2 昭和大学 (薬, 毒物)
- *3 理研 (ジーンバンク)

金子豊蔵, 井上 達, 鈴木登志郎^{*1}, 加藤利博^{*2}, 杉山千生^{*2}, 柿島 博^{*2}, 中村恒彰^{*2}, 辰見 寿^{*2}, 萩野滋延^{*2}, 門馬純子, 大野泰雄: **化粧品原料の安全性評価のための眼粘膜刺激性試験代替法の二次バリデーション (1) 計画および In vivo 試験結果**
第22回日本毒科学学会学術年会ミニシンポジウム1 (1995. 7)

- *1 (株)日本セイゲケン総合研究所
- *2 日本化粧品工業連合会

萩野滋延*, 木下成美*, 谷 尚子*, 中村恒彰*, 小野菜穂子*, 小西貴美代*, 小島肇夫*, 大野泰雄: **ドレイズ眼粘膜刺激性試験代替法の二次バリデーション (2) 有精鶏卵の漿尿膜 (CAM) を用いる方法**
第22回日本毒科学学会学術年会ミニシンポジウム1 (1995. 7)

- * 日本化粧品工業連合会

岡本裕子*, 大越健自*, 大内淳子*, 柿島 博*, 小川朋康*, 板垣 宏*, 津田孝也*, 古本 勉*, 小島肇夫*, 金子豊蔵, 岩淵佳美, 門馬純子, 大野泰雄: **化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (3) 赤血球試験**
第22回日本毒科学学会学術年会ミニシンポジウム1 (1995. 7)

- * 日本化粧品工業連合会

畑尾正人*, 村上賢子*, 坂本一民*, 瀧野嘉延*, 大沼美由紀*, 柿島 博*, 小川朋康*, 松重知保*, 金子豊蔵, 門馬純子, 岩淵佳美, 小島肇夫*, 千葉勝由*, 松川清治*, 増田邦夫*, 大野泰雄: **ドレイズ眼粘膜刺激性試験代替法の二次バリデーション (4) ヘモグロビン変性試験**
第22回日本毒科学学会学術年会 (1995. 7)

- * 日本化粧品工業連合会

加藤俊則^{*1}, 古本 勉^{*1}, 中沢 晴^{*1}, 杉浦秀次^{*1}, 宇佐美雅仁^{*1}, 柿島 博^{*1}, 桑原裕史^{*1}, 大内淳子^{*1}, 笠井

裕^{*1}, 岡本裕子^{*1}, 小島肇夫^{*1}, 柴田道男^{*1}, 津田孝也^{*1}, 風間明美^{*2}, 大野泰雄: ドレイズ眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (5) Skin 2 (ZK1100 および ZK1200 モデル) 試験

第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

^{*1} 日本化粧品工業連合会

^{*2} オリエンタル酵母工共(株)

大内淳子^{*1}, 笠井 裕^{*1}, 小島肇夫^{*1}, 奥村秀信^{*1}, 荒島雅樹^{*1}, 加藤俊則^{*1}, 古本 勉^{*1}, 木下成美^{*1}, 谷 尚子^{*1}, 中村恒彰^{*1}, 鈴木幸一^{*1}, 石橋卓也^{*2}, 堀 洋^{*2}, 西川多美子^{*2}, 大野泰雄: 化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (6) MATR-EXTM による刺激性試験

第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

^{*1} 日本化粧品工業連合会

^{*2} 東洋紡績(株)

内山貴司^{*1}, 秋山純一^{*1}, 宮井恵里子^{*1}, 坂本一民^{*1}, 大沼美由紀^{*1}, 大越健自^{*1}, 岡本裕子^{*1}, 森戸由美子^{*1}, 小島肇夫^{*1}, 奥村秀信^{*1}, 澤村淳子^{*1}, 千葉勝由^{*1}, 牧野育代^{*1}, 山本良平^{*2}, 鳥島 久^{*2}, 柳瀬 浩^{*2}, 大野泰雄: 化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (7) ウサギ角膜初代培養細胞 (Corne-Pack) を用いた細胞毒性試験

第22回日本毒科学会学術年会ミニシンポジウム1 (1995. 7)

^{*1} 日本化粧品工業連合会

^{*2} 倉敷紡績(株)

谷 尚子^{*1}, 木下成美^{*1}, 岡本裕子^{*1}, 小谷麻由美^{*1}, 板垣 宏^{*1}, 村上賢子^{*1}, 杉浦秀次^{*1}, 加藤久美子^{*1}, 小島肇夫^{*1}, 大野忠夫^{*2}, 西條 薫^{*2}, 加藤麻矢子^{*1}, 大野泰雄: 化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (8) ウサギ角膜由来細胞 (SIRC 細胞) を用いる試験

第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

^{*1} 日本化粧品工業連合会

^{*2} 理化学研究所

千葉勝由^{*}, 牧野育代^{*}, 大内淳子^{*}, 笠井 裕^{*}, 津雲勝義^{*}, 柿島 博^{*}, 宮井恵里子^{*}, 秋山純一^{*}, 岡本裕子^{*}, 鶴見淑子^{*}, 奥村秀信^{*}, 加藤久美子^{*}, 杉浦秀次^{*}, 宮島敦子^{*}, 大野泰雄: 化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (9) 哺乳類培養細胞株 (HeLa 細胞) を用いた細胞毒性試験

第22回日本毒科学会学術年会ミニシンポジウム1 (1995. 7)

^{*} 日本化粧品工業連合会

奥村秀信^{*}, 荒島雅樹^{*}, 大内淳子^{*}, 笠井 裕^{*}, 津雲勝義^{*}, 柿島 博^{*}, 小谷麻由美^{*}, 小島肇夫^{*}, 中澤 晴^{*}, 大澤宏行^{*}, 加藤俊則^{*}, 宮島敦子^{*}, 大野泰雄: 化粧品原料の安全性評価のための眼刺激性試験代替法の二次バリデーション (10) 哺乳類組細胞株 (CHL 細胞) を用いた組細胞毒性試験

第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

^{*} 日本化粧品工業連合会

松川清治^{*1}, 増田邦夫^{*1}, 柿島 博^{*1}, 小川朋康^{*1}, 島康世^{*1}, 松重知保^{*1}, 中村恒彰^{*1}, 水谷秋子^{*1}, 新海輝夫^{*2}, 大野泰雄: 化粧品原料の安全性評価のための眼粘膜炎

刺激性試験代替法の二次バリデーション (11) EYTEX を用いる試験

第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

^{*1} 日本化粧品工業連合会

^{*2} *In Vitro* International Co.

北嶋 聡, 津田充有, 江下希美, 松島裕子, 齊藤 実, 門馬純子, 黒川雄二: リポ多糖 (LPS) 投与ラットにおける血中および尿中 NO₂⁻/NO₃⁻ の著増と血液細胞数変動との相関について

第 22 回日本毒科学会学術年会 (1995. 7)

篠内桃子, 張 宝旭, 宮島敦子, 内藤克司, 降矢 強, 井上 達, 大野泰雄: シフェニルエーテル系農薬の犬肝チトクローム P450 代謝酵素系に及ぼす影響について

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

中澤憲一, 大野泰雄: アフリカツメガエル卵母細胞発現系における神経型 ATP 受容体チャネルの選択的陽性制御

第 65 回日本薬理学会総会 (1996. 3)

伊東華奈子^{*}, 中澤憲一, 小泉修一, 井上和秀, 竹内幸一^{*}, 大野泰雄: ハロペリドールおよびクロロプロマジンによる電位依存性 K⁺ チャネル抑制の作用機序—PC12 細胞を用いた検討—

第 65 回日本薬理学会総会 (1996. 3)

^{*} 明治薬科大学

小泉修一, 井上和秀: ラット海馬初代培養細胞における ATP 受容体を介する Ca²⁺ シグナル

第 69 回日本薬理学会学術年會シンポジウム (1996. 3)

宇佐見誠, 酒見和枝, 大野泰雄: ラット初期着床胚の培養に必要な血清胚栄養因子の部分精製

第 35 回日本先天異常学会学術集會 (1995. 7)

大野泰雄: トキシコキネチクスと GLP, 第一回 GLP 研修会—GLP の現状と GLP 実施上の技術的問題点—

医薬品機構講演会 (1995. 9)

大野泰雄: 毒性研究に行政の側から望むこと

文部省科学研究費総合 B 公開シンポジウム, 科学物質による細胞障害機構 (1995. 9)

仲井培雄^{*1}, 三輪晃一^{*1}, 木南伸一^{*1}, 佐原博之^{*1}, 松本尚^{*1}, 藤村 隆^{*1}, 宮崎逸夫^{*1}, 中村信一^{*1}, 津田充有, 服部隆則^{*2}: 幽門機能不全によるラット胃発癌

日本癌学会第 54 回総会 (1995. 10)

^{*1} 金沢大学医学部

^{*2} 滋賀大学医学部

三輪晃一^{*1}, 仲井培雄^{*1}, 木南伸一^{*1}, 藤村 隆^{*1}, 宮崎逸夫^{*1}, 津田充有, 服部隆則^{*2}: チオプロリンの胃発癌抑制効果—十二指腸胃逆流ラットへの投与—

日本癌学会第 54 回総会 (1995. 10)

^{*1} 金沢大学医学部

^{*2} 滋賀大学医学部

小島肇夫^{*1}, 井上 達, 金子豊蔵, 森川良広^{*1}, 吉田武美^{*2}, 林 真, 門馬純子, 大野忠夫^{*3}, 藤井昭男^{*1}, 増田光輝^{*1}, 秋山純一^{*1}, 池田紀和^{*1}, 板垣 宏^{*1}, 今西 豊^{*1},

宇佐見雅仁*¹, 大越健自*¹, 奥村秀信*¹, 柿島 博*¹, 笠井 裕*¹, 栗下昭弘*¹, 西条 薫*³, 坂本一民*¹, 高野勝弘*¹, 辰見 寿*¹, 谷 尚子*¹, 千葉勝由*¹, 中村恒彰*¹, 松川清治*¹, 渡辺理絵*¹, 大野泰雄: **化粧品原料の眼刺激性試験代替法の施設間バリデーション結果**
第9回日本動物実験代替法学会 (1995. 11)

*¹ 日本化粧品工業連合会

*² 昭和大学 (薬, 毒物)

*³ 理研 (ジーンバンク)

大野泰雄: **薬物動態指針について**
ヒューマンサイエンス振興財団 第4回創薬科学シンポジウム「薬物の代謝・動態研究から創薬へ」 (1996. 1)

津田充有: **TKとその実施上の留意点**
日本薬学会関東支部シンポジウム「トキシコキネティクスとヒトへの外挿」 (1996. 1)

黒沢英俊*, 永松国助*, 長谷川 明*, 大野泰雄: **カルバメート系農薬誘発高血糖の作用機序に関する研究**
日本薬学会第116年会 (1996. 3)

* 日本大学薬学部

白神歳文*¹, 岩崎一秀*¹, 戸塚善三郎*¹, 山添 康*², 大野泰雄: **ウサギ肝アミンスルホトランスフェラーゼの精製とその諸性質**
日本薬学会第116年会 (1996. 3)

*¹ 藤沢薬品工業㈱

*² 東北大学薬学部

籾内桃子, 張 宝旭, 宮島敦子, 酒見和枝, 大野泰雄: **Pyrethroid および Diphenylether 系農薬のラット肝細胞およびその Cytochrome P450 代謝酵素に及ぼす影響**
日本薬学会第116年会 (1996. 3)

井上和秀, 小泉修一, 高島明彦*¹, 村山 洋*²: **P2X 受容体遺伝子を導入したラット・グリオーマ由来 C6BU-1 細胞での ATP 刺激による細胞内 Ca 濃度変化**
第69回日本薬理学会年会 (1996. 3)

*¹ 三菱化学生命研

*² 大阪母子医療センター

小泉修一, 中沢憲一, 大野泰雄, 井上和秀: **P2U 受容体刺激により誘発される容量性 Ca²⁺ 流入と開口放出**
第69回日本薬理学会年会 (1996. 3)

池田 真, 小泉修一, 田中賢一*, 百瀬和孝*, 井上和秀: **PC12 細胞においてカフェインにより惹起された容量性 Ca²⁺ 流入とドパミン放出**
第69回日本薬理学会年会 (1996. 3)

* 昭和大薬学部

小浜とも子, 小泉修一, 大野泰雄, 井上和秀: **ラット海馬アストログリア細胞における ATP による Ca²⁺ シグナル**
第69回日本薬理学会年会 (1996. 3)

津田充有: **レギュラトリーの立場からみた TK 試験導入の意義とその実施上の問題点**
第10回日本薬物動態学会ワークショップ「実験動物からヒトへ」 (1996. 4)

Ohno, Y.: **International harmonization of drug metabolism and toxicokinetics for new drug development. Current understanding in Japan**

International Symposium on Strategy of Drug Metabolism study for New Drug Development (1995. 6)

Koizumi, S., Inoue, K., Kumakura, K.*¹, Matsuda, Y.*², Yuda, Y.*², Sakurai, T.*³ and Nonomura, Y.*³: **Myosin-actin interaction is involved in exocytosis of dopamine from pheochromocytoma PC12 cells stimulated by ATP**

The 15th International Symposium for Neurochemistry, Satellite Symposium (1995. 6)

*¹ 上智大生命研

*² 協和発酵

*³ 東京大医学部

Inoue, K.: **The function of ATP receptor/channel on synaptic transmission**

The second joint meeting of the Physiological Societies of Japan and UK., Nagoya, Japan (1995. 4)

Inoue, K.: **ATP receptor-mediated synaptic responses including intracellular calcium increase in hippocampal neurons**

15th International Society for Neurochemistry Biennial Meeting, Kyoto, Japan (1995. 7)

Koizumi, S., Nakazawa, K. and Inoue, K.: **Characterization of P2-purinoceptors in cultured rat hippocampal neurons**

The 15th International Symposium for Neurochemistry (1995. 7)

Koizumi, S. and Inoue, K.: **The regulation by zinc ion of P2-purinoceptor-mediated responses in PC12 cells**
生理研シンポジウム (1995. 7)

Ohno, Y.: **How does animal testing for cosmetics fit into the overall picture for reductions in animal experimentation**

Annual meeting of European Cosmetic Toiletry and Perfumery Association (COLIPA) (1995, 11)

Koizumi, S., Nakazawa, K. and Inoue, K.: **Inhibition by Zn²⁺ of UTP-evoked Ca²⁺-influx but not Ca²⁺-mobilization in rat pheochromocytoma cells**

Society for Neuroscience 25 th Annual Meeting, San Diego (1995. 11)

Tsuda, M.: **Formation of Thioproline, An Effective Nitrite Trapping Agent in the Human Body, by Cooking of Various Vegetables, Mushrooms and Beans**

International Conference on Food Factors: Chemistry and Cancer Prevention, Hamamatsu, Japan (1995. 12)

M. Akaike*, S. Takayama*, M. Takahashi, K. Kawashima, and Y. Kurokawa: **The collaborative work on male reproductive toxicity (1)**

International Congress of Toxicology-VII (1995. 2)

* Japan Pharmaceutical Manufacturers' Assoc

M. Takahashi, S. Takayama*, M. Akaike*, K. Kawashima, and Y. Kurokawa: **The collaborative work on male reproductive toxicity (2)**

International Congress of Toxicology-VII (1995. 2)

* Japan Pharmaceutical Manufacturers' Assoc

西川秋佳, 古川文夫, 池崎信一郎, 豊田和弘, 高橋道人: **N-Nitrosopyrrolidine の反復投与によるラット肝内胆管線維症の誘発**

第 84 回日本病理学会総会 (1995. 4)

古川文夫, 西川秋佳, 阿部 寛*, 須田耕一*, 高橋道人: **ハムスター腭ラ島に対するエストロゲンおよびプロゲステロンの影響**

第 84 回日本病理学会総会 (1995. 4)

* 順天堂大学医学部

林 裕造*¹, 三森国敏, 山本 慧*²: **c-Ha-ras トランスジェニックマウスを用いた短期発癌評価システム**

第 42 回実験動物学会シンポジウム (1995. 6)

*¹ 北里大学薬学部

*² 慶応大学医学部

古川文夫, 西川秋佳, 池崎信一郎, 高橋道人: **ハムスター BOP 誘発肺病変における血液型 A 物質の発現**

第 22 回日本毒科学会 (1995. 7)

西川秋佳, 古川文夫, 池崎信一郎, 今沢孝喜, 吉田敏則*, 原田孝則*, 真板敬三*, 高橋道人: **ペルオキシゾーム誘導剤によるラット肝小増殖巣に対するオルニチン脱炭酸酵素の免疫組織化学的検討**

第 22 回日本毒科学会 (1995. 7)

* 残留農薬研究所毒性

安原加寿雄, 三森国敏, 高橋道人: **雄授精能評価方法の確立のための研究—病理検索での問題点—**

第 22 回日本毒科学会 (1995. 7)

小野寺博志, 三森国敏, 安原加寿雄, 務台 衛*¹, 北浦敬介*², 森下克美*², 前川明彦*³, 高橋道人: **テオウレアの血中甲状腺ホルモン低下作用機序に関する研究**

第 22 回日本毒科学会 (1995. 7)

*¹ 三菱化学

*² 大塚製薬

*³ 佐々木研究所病理

高橋道人: **発癌評価における短期試験の有用性**

第 22 回日本毒科学会 ワークショップ (1995. 7)

豊田和弘, 正田俊之, 畝山智香子, 高田幸一, 高橋道人: **細胞増殖と細胞死を指標とした免疫毒性の組織学的評価法の検討**

第 2 回免疫毒性研究会 (1995. 9)

竹川 潔, 小野寺博志, 三森国敏, 下 武男, 安原加寿雄, 高橋道人: **ピペロニル・プトキサイド投与ラットに発現したリンパ組織萎縮に関する研究**

第 2 回免疫毒性研究会 (1995. 9)

三森国敏, 小野寺博志, 務台 衛*¹, 北浦敬介*², 高橋正一*³, 安原加寿雄, 高橋道人: **Thiourea と Vitamin A 複**

合投与ラットの甲状腺腫瘍発生促進における肝薬物代謝酵素誘導の変動

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

*¹ 三菱化学

*² 大塚製薬

*³ 佐々木研究所病理

小野寺博志, 三森国敏, 務台 衛*¹, 北浦敬介*², 高橋正一*³, 安原加寿雄, 高橋道人: **Thiourea と Phenobarbital 複合投与ラットの甲状腺腫瘍発生促進機序に関する研究**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

*¹ 三菱化学

*² 大塚製薬

*³ 佐々木研究所病理

今沢孝喜, 西川秋佳, 古川文夫, 池崎信一郎, 吉村博之, 高橋道人: **4-Hydroxyaminoquinoline 1-oxide 投与ラット腭における p53 蛋白と Apoptosis の経時的観察**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

池崎信一郎, 西川秋佳, 古川文夫, 今沢孝喜, 榎並倫宣, 高橋道人: **L-ヒスチジン塩酸塩の F344 ラットにおける癌原性試験**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

西川秋佳, 古川文夫, 今沢孝喜, 池崎信一郎, 林 裕造, 高橋道人: **ハムスター BOP 誘発肺腫瘍発生に対する 3-phenylpropyl isothiocyanate の抑制効果**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

古川文夫, 西川秋佳, 今沢孝喜, 池崎信一郎, 林 裕造, 高橋道人: **魚粉および亜硝酸の同時投与によるラット腎腫瘍の発生**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

安原加寿雄, 三森国敏, 林 新茂*, 森 郁生*, 今沢孝喜, 小野寺博志, 野々山孝*, 高橋道人, 林 裕造: **MNUR により誘発されたハムスター肺腫瘍の K-ras 遺伝子変異**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

* 武田薬品・薬安研

豊田和弘, 畝山智香子, 川西 徹, 三森国敏, 高田幸一, 高橋道人: **ポリウレタンシート皮下埋植で誘発されたラット MFH の発生過程の組織学的検討**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

下 武男*¹, 三森国敏, 小野寺博志, 高橋正一*², 上野芳夫*³, 高橋道人: **サルファジメトキシン間欠投与によるラット甲状腺増殖性病変発育の亢進**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

*¹ 北陸製薬研究所

*² 佐々木研究所病理

*³ 東京理科大学薬学部

林 修次*, 岩田裕之*, 北野光昭*, 古川文夫, 高橋道人, 福島昭治*: **ラット胃粘膜増殖性病変における PCNA・AgNORs 二重染色による細胞増殖活性の解析**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

* 大阪市立大学医学部

菅野 純*¹, 豊田和弘, 高橋道人, 林 裕造*²: 下剤によるラット結腸上皮の変化とプロスタグランディン
第54回日本癌学会総会 (1995.10)

*¹ 東京医科歯科大学医学部

*² 北里大学薬学部

堀 高明*¹, 鰐淵英機*¹, 高田信康*¹, 大年辰幸*¹, 西川秋佳, 高橋道人, 中江 大*², 小西陽一*², 福島昭治*¹: 水浸拘束ストレスによるラット消化管上皮細胞の増殖
第54回日本癌学会総会 (1995.10)

*¹ 大阪市立大学医学部

*² 奈良医科大学がんセンター

山崎幸苗*, 影山裕一*, 古川文夫, 高橋道人, 奥野洋明*: 2次元電気泳動とキラル活性染色による動物組織内エステラーゼの立体選択性の解析
第39回日本薬学会関東支部大会 (1995.10)

* 工業技術院生命研究所

豊田和弘, 正田俊之, 畝山智香子, 高田幸一, 高橋道人: 細胞増殖と細胞死を指標とした免疫系組織の細胞動態解析法の検討
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

高田幸一, 豊田和弘, 畝山智香子, 正田俊之, 門馬純子, 高橋道人, 黒川雄二: Tris-CPによる腎発癌過程にみられた尿管上皮過形成および巨核化の意義
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

正田俊之, 豊田和弘, 畝山智香子, 高田幸一, 高橋道人: β -cyclodextrin の F344 ラットにおける癌原性試験
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

池崎信一郎, 西川秋佳, 古川文夫, 田中丸善洋, 金 亨津, 鈴木孝昌, 伊藤俊明, 林 真, 祖父尼俊雄, 高橋道人: Big Blue マウスにおける dimethylnitrosamine 誘発の遺伝子突然変異と細胞増殖活性の相関性
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

西川秋佳, 古川文夫, 田中丸善洋, 池崎信一郎, 金 亨津, 内田浩二*¹, 豊國伸哉*², 北浦敬介*³, 泉 啓介*³, 高橋道人: LECラットにおける脂質過酸化生成物 4-hydroxy-nonenal の局在
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

*¹ 名古屋大学農学部

*² 京都大学医学部

*³ 徳島大学医学部

今沢孝喜, 三森国敏, 北嶋 聡, 小野寺博志, 西川秋佳, 古川文夫, 井上 達, 黒川雄二, 高橋道人: 2,5-Di(tert-butyl)-1,4-hydroquinone 経口投与ラットにおける運動終板の超微形態学的検索
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

古川文夫, 西川秋佳, 池崎信一郎, 今沢孝喜, 田中丸善洋, 金 亨津, 高橋道人: ラット MNNG 誘発胃癌発生における魚粉および亜硝酸の影響
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

田中丸善洋, 西川秋佳, 古川文夫, 池崎信一郎, 金 亨津, 今沢孝喜, 田中卓二*, 高橋道人: ラット MNNG 誘発胃

発癌におけるオルニチン脱炭酸酵素阻害剤の影響
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

* 岐阜大学医学部

Hyoun-Chin Kim*¹, Chang-Su Ha*¹, Shin-Woo Cha*¹, Jung-Koo Roh*¹, Yong-Soon Lee*², Nishikawa, A., Furukawa, F., Tanakamaru, Z., Ikezaki, S. and Takahashi, M.: Cancer risk assessment by a medium-term carcinogenicity bioassay using repeated administration of D-galactosamine
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

*¹ KRICT, Daejeon

*² Seoul Natl. Univ.

小野寺博志, 三森国敏, 畝山智香子, 今沢孝喜, 伊藤聖一*, 竹川 潔, 安原加寿雄, 高橋道人: Oxfendazole 反復投与ラットにおける肝 P450 アイソザイムおよびコネクシン 32 の変動
第12回日本毒性病理学会 (1996.1)

* 実医研

樋口敏浩*, 中岡政直*, 川村 聡*, 奥野泰由*, 松尾昌季*, 安原加寿雄, 高橋道人: Cyclophosphamide 投与によるラット精巢毒性
第12回日本毒性病理学会 ワークショップ (1996.1)

* 住友化学工業生科研

今井 清*¹, 齊藤義明*¹, 白見憲司*¹, 永田伴子*¹, 丸茂秀樹*¹, 加藤正信*², 高橋道人: Di-(2-ethylhexyl)phthalate および 2,5-Hexanedione 投与によるラットの精巢傷害, 特に初期病変について
第12回日本毒性病理学会 ワークショップ (1996.1)

*¹ 食薬センター秦野研

*² 三菱化学安科研

安原加寿雄, 三森国敏, 畝山智香子, 小野寺博志, 竹川潔, 川島邦夫, 高橋道人: 細胞増殖能およびアポトーシスを指標とした精巢毒性の形態学的解析
第12回日本毒性病理学会 ワークショップ (1996.1)

国安祐子*, 稲森悠平*, 水沢 博: 微小動物の画像データベースの構築について
日本微生物資源学会第2回大会 (1995.6)

* 国立環境研究所

原澤 亮*, 水沢 博: 動物培養細胞に見られる Pestivirus RNA の 5' 端非コード領域
日本獣医学会第120回大会 (1995.11)

* 東京大学医学部附属動物実験施設

田辺秀之, 石田貴文*, 植田信太郎*, 祖父尼俊雄, 水沢博: ヒト 9 番染色体の核型進化に関する研究: 免疫グロブリン C-epsilon 3 遺伝子の比較マッピング
第13回染色体ワークショップ (1996.2)

* 東京大学理学部

田辺秀之, 高田容子, 岡戸 清, 祖父尼俊雄, 水沢 博: Comparative Genomic Hybridization (CGH) 法による細胞株ゲノムの性状把握と個別識別への応用
日本組織培養学会第69回大会 (1996.5)

Tanabe, H., Ishida, T.*, Ueda, S.*, Sofuni, T. and Mizusawa, H.: **Evolutionary consideration for the origin of human chromosome 9 by FISH analyses of comparative gene mapping of IGHEP2 in higher primates**

HGM'96 HUGO's Human Genome Meeting, Heidelberg, Germany (1996. 3)

* 東京大学理学部

増井 徹: **正常上皮細胞の増殖停止特異遺伝子 eti-1 の 2 種類の転写産物の解析**

日本癌学会第 54 回総会 (1995. 10)

増井 徹: **上皮細胞特異的な増殖停止関連遺伝子 eti-1 の構造と機能**

がん生物ワークショップ (1995. 11)

増井 徹: **増殖停止関連遺伝子 eti-1 の構造と機能**

第 1 回上皮細胞研究会 (1996. 2)

本間正充, 林 真, 祖父尼俊雄: **LOH 型遺伝子突然変異の誘発機構と遺伝的不安定性**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

Matsuoka, A., Yamada, K.*, Hayashi, M. and Sofuni, T.: **Chromosome painting analysis of lymphocytes from X-ray treated cancer patients**

European Environmental Mutagen Society, 25th annual meeting, Noordwijkerhout, The Netherlands (1995. 6)

* International Medical Center of Japan

鈴木孝昌, 伊藤俊明, 林 真, 西川秋佳, 池崎信一郎, 古川文夫, 高橋道人, 祖父尼俊雄: **トランスジェニックマウス (Big Blue) を用いた dimethylnitrosamine の発がん機構の解析**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

小此木英男*, 牛島俊和*, 落合雅子*, 細谷曜子*, 鈴木孝昌, 祖父尼俊雄, 杉村 隆*, 長尾美奈子*: **Big Blue マウスにおける MeIQ の突然変異頻度, 変異スペクトラムと発がんの臓器特異性**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

* 国立がんセンター研究所

小野哲也*, 鈴木孝昌, 林 真, 祖父尼俊雄: **自然突然変異の老化に伴う増加速度**

第 54 回日本癌学会総会 (1995. 10)

* 東北大学医学部

本間正充, 林 真, 祖父尼俊雄: **変異型 p53 遺伝子をもつ WTK-1 細胞における遺伝子突然変異の解析**

第 38 回日本放射線影響学会 (1995. 11)

松岡厚子, 山田清美*, 林 真, 祖父尼俊雄: **X 線治療を受けた癌患者リンパ球の FISH 法による染色体異常解析および相当被曝線量の算定**

第 38 回日本放射線影響学会 (1995. 11)

* 国立国際医療センター

本間正充, 林 真, 祖父尼俊雄: **AS52 細胞を用いた Chlorambucil の欠失型遺伝子突然変異の検出**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

張 立実*, 本間正充, 林 真, 祖父尼俊雄: **Poly-ploid/aneuploid inducers can be detected by mouse lymphoma assay**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 10)

* 華西医科大学

本間正充: **ヒトリンパ球細胞株の tk 遺伝子を利用した欠失型, 組換え型突然変異**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

小林 浩*¹, 伊藤裕之*², 奥 清春*², 林 真, 祖父尼俊雄: **Single cell gel electrophoresis assay (コメットアッセイ) における肉眼観察と画像解析の比較**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

*¹ 資生堂研究所

*² ケイオー電子工業

勝間祥行*, 森崎晃士郎*, 川島純彦*, 鈴木孝昌, 林真, 祖父尼俊雄: **小核試験におけるイメージアナライザを用いる末梢網赤血球観察の自動化**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

* 東洋紡

佐々木有*, 田中真紀子*, 村上道子*, 林 真, 祖父尼俊雄: **八戸近海の高産魚の小核試験とコメットアッセイを用いる沿岸水域変異原のモニタリング**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

* 八戸高専

岩崎浩一*, 谷所達幸*, 古郡三千代*, 下位香代子*, 木苗直秀*, 林 真, 祖父尼俊雄: **魚類の小核試験と海水の Ames 試験を用いる水汚染のモニタリング**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

* 静岡県立大・食品栄養

高井明德*¹, 上野紘一*², 佐々木有*³, 浅野哲秀*⁴, 林真, 祖父尼俊雄, 小嶋吉雄*⁵: **魚類の鰓細胞を用いた小核試験法の開発と水質汚染の細胞遺伝毒性影響評価への影響**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

*¹ 大阪信愛短大

*² 近畿大・農

*³ 八戸高専

*⁴ 日東電工

*⁵ 日本魚類生科研

Honma, M.: **Some type of mutagens only detected by continuous treatment in the microtiter method**

27th annual meeting of Environmental Mutagen Society, Victoria, Canada (1996. 3)

鈴木孝昌, 伊東 悟*¹, 竹本奈緒子*², 矢嶋信浩*², 林真, 島田弘康*¹, 祖父尼俊雄: **生殖細胞に対する遺伝毒性試験としてのトランスジェニックマウスの利用**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

*¹ 第一製薬(株)

*² 雪印乳業(株)

Nagao, M.*¹, Okonogi, H.*¹, Ushijima, T.*¹, Zhang, X.

B.*², Heddle, J. A.*², Suzuki, T., Sofuni, T., Felton, J.*³, Tucker, J.*³, and Sugimura, T.*¹: **Mutational spectra of MeIQ, PhIP and AαC in BBM relevant to the oncogene or tumor suppressor gene mutations**

A Satellite Conference to the 1996 Meeting of the Environmental Mutagen Society, Sidney, Canada (1996. 3)

*¹ National Cancer Center Research Institute

*² York University

*³ Lawrence Livermore National Laboratory

Nohmi, T., Gruz, P., Yamada, M., Matsui, K. and Sofuni, T.: **umuDC and induced mutagenesis in Escherichia coli and Salmonella typhimurium**

国際シンポジウム突然変異誘発の分子機構 (1995. 7)

Sofuni, T., Suzuki, T., and Hayashi, M.: **Use of transgenic mutation assays in a regulatory submission**

A Satellite Conference to the 1996 Meeting of the Environmental Mutagen Society, Sidney, Canada (1996. 3)

Suzuki, T., Itoh, S.*¹, Takemoto, N.*², Yajima, N.*², Miura, M.*¹, Hayashi, M., Shimada, H.*¹, and Sofuni, T.: **Ethyl nitrosourea and methyl methanesulfonate mutagenicity in sperm and testicular germ cells of lacZ transgenic mice (Muta™ Mouse)**

27th Annual Meeting of Environmental Mutagen Society, Victoria, Canada (1996. 3)

*¹ Daiichi Pharm. Co. Ltd.

*² Snow Bland Milk Products Co. Ltd.

祖父尼俊雄, 松岡厚子, 林 真, 山田清美* : **染色体ペインティング法による X 線治療癌患者リンパ球の染色体異常解析**

日本原子力学会, 1996 年春の年会 (1996. 3)

* 国立国際医療センター

Okonogi, H.*¹, Ushijima, T.*¹, Zhang, X. B.*², Heddle, J. A.*², Suzuki, T., Sofuni, T., Felton, J.*³, Tucker, J.*³, Sugimura, T.*¹ and Nagao, M.*¹: **Preferential mutation sites of , PhIP AαC and MeIQ-induced lacI mutations**

A Satellite Conference to the 1996 Meeting of the Environmental Mutagen Society, Sidney, Canada (1996. 3)

*¹ National Cancer Center Research Institute

*² York University

*³ Lawrence Livermore National Laboratory

Gruz, P., Sofuni, T. and Nohmi, T.: **The His-Tag® and GST N-terminal fusions as tools for studying the functions of UmuC-like mutagenesis proteins**

第 18 回日本分子生物学会年会 (1995. 12)

能美健彦 : **変異原性試験の最近の動向**

国立公衆衛生院毒性学 (1995. 5)

渡辺雅彦, 西野達也, 能美健彦, 祖父尼俊雄 : **Salmonella typhimurium ニトロ還元酵素の精製とその特性**

日本環境変異原学会第 24 回大会 (1995. 11)

能美健彦 : **特殊毒性試験, 特に遺伝毒性試験とその評価**
日本防菌防黴学会, 防菌防黴剤研究部会 (1995. 6)

Nohmi, T.: **umuDC in Escherichia coli and its homologous genes**

フランス CNRS 研究所セミナー (1995. 10)

鈴木 任, 祖父尼俊雄, 能美健彦 : **大腸菌 mutM 遺伝子の発現誘導機構の解析**

第 18 回日本分子生物学会年会 (1995. 12)

金 秀良, 祖父尼俊雄, 能美健彦 : **酵母 8-ヒドロキシグアニン修復酵素活性の解析**

第 18 回日本分子生物学会年会 (1995. 12)

堀谷尚古*¹, 能美健彦, 加藤基恵*², 澁谷徹*¹, 池田日出男*³ : **トランスジェニックマウスの遺伝子突然変異試験に用いる自家製パッケージングエクストラクトの効果的使用法**

日本環境変異原学会第 24 回大会 (1995. 11)

*¹ 食品薬品安全センター

*² チリ大

*³ 東京大学医科学研究所

能美健彦, 加藤基恵*¹, 山田雅巳, 堀谷尚古*¹, 松井道子, 渡辺雅彦, 鈴木宏志*², 澁谷 徹*¹, 池田日出男*³, 祖父尼俊雄 : **点突然変異と欠失突然変異を検出するトランスジェニックマウスの開発**

第 18 回日本分子生物学会年会 (1995. 12)

*¹ 食品薬品安全センター

*² CSK リサーチパーク

*³ 東京大学医科学研究所

能美健彦, 加藤基恵*¹, 山田雅巳, 堀谷尚古*¹, 松井道子, 渡辺雅彦, 鈴木宏志*², 澁谷 徹*¹, 池田日出男*³, 祖父尼俊雄 : **欠失突然変異をポジティブに検出する遺伝子突然変異検出用トランスジェニックマウスの開発**

日本環境変異原学会第 24 回大会 (1995. 11)

*¹ 食品薬品安全センター

*² CSK リサーチパーク

*³ 東京大学医科学研究所

松井道子, 能美健彦, 祖父尼俊雄 : **大腸菌 gpt 遺伝子 (ECOGPT) における γ 線誘発突然変異のスペクトラム**

日本環境変異原学会第 24 回大会 (1995. 11)

Gruz, P., Matui, K., Nohmi, T. and Sofuni, T.: **The abilities of UmuDC like proteins to promote spontaneous, chemical and UV light-induced mutagenesis: Comparison of MucA'B and SamA'B proteins expressed independently on the SOS system**

日本環境変異原学会第 24 回大会 (1995. 11)

Suzuki, T., Itoh, M., Nishikawa, S., Ikezaki, S., Furu-kawa, F., Takahashi, M., and Sofuni, T.: **Organ variation in the mutagenicity of dimethylnitrosamine in Big Blue mice**

A Satellite Conference to the 1996 Meeting of the Environmental Mutagen Society, Sidney, Canada (1996. 3)

Nohmi, T., Kato, M.*¹, Yamada, M., Horiya, N.*², Matsui, M., Watanabe, M., Suzuki, H.*³, Shibuya, T.*², Ikeda, H.*⁴ and Sofuni, T.: **Development of a new transgenic mouse mutagenesis test system using Spi⁻ and 6-thioguanine selections**

A Satellite Conference to the 1996 Meeting of the Environmental Mutagen Society, Transgenic Animals in Mutation Research, Canada (1996. 3)

*¹ チリ大

*² 食品薬品安全センター

*³ CSK リサーチパーク

*⁴ 東京大学医学研究所

祖父尼俊雄, 本間正充, 林 真, 島田弘康*¹, 田中憲穂*², 若栗 忍*², 青儀 巧*³, 山本好一*⁴, 西 義介*⁵, 中館正弘: **厚生省/製薬協 第一回マウスリンフォーマ試験 (MLA) 国際共同研究**

第 24 回日本環境変異原学会 (1995. 11)

*¹ 第一製薬(株)

*² 食品薬品安全センター

*³ 大塚製薬(株)

*⁴ 武田薬品工業(株)

*⁵ 日本たばこ産業(株)

Yomota, C., and Okada S.: **Colligative properties of hyaluronate as a polyelectrolyte**

1995 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Honolulu, USA (1995. 12)

宮崎玉樹, 四方田千佳子, 岡田敏史: **金属によるヒアルロン酸の分子量変化**

第 45 回日本薬学会近畿支部 (1995. 10)

Yomota, C., and Okada S.: **Non-freezing water in anionic polysaccharides**

211th American Chemical Society, New Orleans, Louisiana, USA (1996. 3)

Miyazaki, T., Yomota, C., and Okada S.: **Degradation of hyaluronate by metals**

211th American Chemical Society, New Orleans, Louisiana, USA (1996. 3)

四方田千佳子, 岡田敏史: **アニオン性多糖類の DSC 挙動**

第 45 回高分子学会年次大会 (1996. 5)

井部佳江子*, 小林達治*, 高橋幸男*, 赤木好男*, 谷本剛: **糖尿病性網膜症の進展と赤血球中アルドース還元酵素量との関連について**

第 49 回日本臨床眼科学会 (1995. 11)

* 福井医科大学

前川京子, 谷本 剛, 岡田敏史: **ウリナスタチンの力価測定における問題点**

第 32 回全国衛生化学技術協議会 (1995. 11)

小林達治*¹, 久保江理*¹, 高橋幸男*¹, 赤木好男*¹, 谷本剛, 鈴木研一*², 後藤由夫*², 大西晃生*³, 姫井 孟*⁴: **糖尿病網膜症発症と赤血球 AR 値の関連について**

第 2 回日本糖尿病眼学会総会 (1996. 3)

*¹ 福井医科大学

*² 東北厚生年金病院

*³ 産業医科大学

*⁴ 岡山赤十字病院

鳥取恵子*, 平田雅彦*, 大桃善朗*, 田中千秋*, 谷本剛: **オキサゾール環を有する新規アルドース還元酵素阻害剤の合成とその阻害活性**

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* 大阪薬科大学

谷本 剛, 前川京子, 岡田敏史, 西村千尋*: **糖尿病合併症の発症と赤血球アルドース還元酵素量との相関**

日本薬学会第 116 年会 (1996. 3)

* 国立小児病院

Tanimoto, T., Akagi, Y.*¹, Takahashi, Y.*¹, Goto, Y.*², Suzuki, K.*², Ohnishi, A.*³, and Himei, H.*⁴: **An Amount of Aldose Reductase in Red Blood Cell of Diabetic Patients**

1996 Annual Meeting of ARVO, Fort Lauderdale, Florida, USA (1996. 4)

*¹ 福井医科大学

*² 東北厚生年金病院

*³ 産業医科大学

*⁴ 岡山赤十字病院

谷本 剛, 西村千尋*¹, 後藤由夫*², 鈴木研一*², 大西晃生*³, 姫井 孟*⁴, 高橋健二*⁵, 羽井佐 茂*⁶: **NIDDM における糖尿病性神経障害の発症と赤血球アルドースリダクターゼ量との相関**

第 39 回日本糖尿病学会 (1996. 5)

*¹ 国立小児病院

*² 東北厚生年金病院

*³ 産業医科大学

*⁴ 岡山赤十字病院

*⁵ 倉敷中央病院

*⁶ 岡山市民病院

小松裕明, 岡田敏史: **エタノールによるレシチンリポソーム膜の透過性亢進に及ぼす添加脂質の影響—指組み構造相の形成による膜の相分離—**

第 17 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (1995. 10)

小松裕明, 岡田敏史: **エタノールによるリポソーム膜の透過性亢進機構—指組み構造相の形成による膜の相分離—膜シンポジウム'95 (1995. 11)**

Komatsu, H., Yoshii, K., Okada, S. and Miyajima, K.*: **Protective effects of salts against the coalescence of fat emulsions during freeze-thawing**

1995 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Honolulu, USA (1995. 12)

* 京都大学薬学部

Komatsu, H. and Okada, S.: **Permeability of lecithin/phosphatidylethanolamine liposomal membranes with mixtures of ethanol-induced interdigitated and normal bilayer structures**

40th Annual Meeting of the Biophysical Society, Baltimore, USA (1996. 2)

小松裕明, 岡田敏史: エタノールによるコレステロール/レシチン混合リポソーム膜の透過性亢進
日本薬学会第116年会 (1996.3)

小松裕明, 北島文, 岡田敏史, 中田靖*¹, 山崎義明*²: ヒトインスリン水性懸濁注射剤の光散乱法による粒度分布の評価
日本薬学会第116年会 (1996.3)

*¹ (株)堀場製作所

*² 野崎産業(株)

小松裕明, 吉井公彦, 岡田敏史: 熱分析法の医薬品の品質評価試験への応用
日本薬学会第116年会 (1996.3)

Nakanishi, K.*¹, Masukawa, T.*¹, Nadai, T.*¹, Yoshii, K., Okada, S. and Miyajima, K.*²: **Prolonged release of drug from triacetyl β -CD complex for oral and rectal administration**
The 8th International Cyclodextrin Symposium, Budapest, Hungary (1994.3)

*¹ Faculty of Pharmaceutical Sciences, Setsunan University

*² Faculty of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University

中村優美子, 津村ゆかり, 外海泰秀, 柴田正, 内山充: スクアレン経口投与時の血清・肝臓脂質と糞中ステロイド排泄の変化
第50回日本栄養・食糧学会大会 (1996.4)

中村優美子, 津村ゆかり, 外海泰秀, 柴田正: サラダ油, 玄米, 大豆中ピレスロイド系農薬分析時における脱脂行程の検討
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)

津村ゆかり, 中村優美子, 外海泰秀, 柴田正: 玄米中トリシクラゾールのGC分析における遊離脂肪酸の影響とその除去法
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)

辻澄子, 石光進, 柴田正: 電気化学検出器を用いたHPLCによるトコフェロール同族体の分析法について
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)

石光進, 三島郁子, 辻澄子, 柴田正: 高速液体クロマトグラフィーによるアゾ系食用タール色素中の未反応原料, 反応中間体および付随色素の定量
第32回全国衛生化学技術協議会年会 (1995.11)

三島郁子, 石光進, 辻澄子, 柴田正: キサンテン系食用色素の光照射による安定性およびハロゲンイオンの遊離
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)

小林昭彦*, 武田寿*, 伊藤澄夫*, 渡辺芳則*, 宮田昌弘*, 平原嘉親*, 成田美加子*, 木村実加*, 前田憲二*, 外海泰秀, 中村優美子, 津村ゆかり, 柴田正: 食品中残留農薬のGC, GC/MS (EIおよびCI法)による多成分系統分析法の検討
第32回全国衛生化学技術協議会年会 (1995.11)

* 神戸検疫所 輸入食品・検査検査センター

外海泰秀, 津村ゆかり, 中村優美子, 柴田正: 農作物中トリアジン系除草剤の迅速, クリーンアナリシス
日本食品衛生学会第71回学術講演会 (1996.5)

伊藤誉志男*¹, 田中敏嗣*², 佐々木久美子, 谷孝之*³, 外海泰秀, 中澤裕之*⁴, 中村好志*⁵, 永山敏廣*⁶, 西島基弘*⁶, 星野庸二*⁷, 堀伸二郎*⁸, 宮田秀明*⁹: 食物試験法・食品汚染物試験法, 有機塩素系農薬; ガスクロマトグラフィーによる定性および定量
日本薬学会第116年会 (1996.3)

*¹ 武庫川女子大学薬学部

*² 神戸市環境保健研究所

*³ 神奈川県衛生研究所

*⁴ 星薬科大学

*⁵ 静岡県立大学薬学部

*⁶ 東京都立衛生研究所

*⁷ 埼玉県衛生研究所

*⁸ 大阪府立公衆衛生研究所

*⁹ 摂南大学薬学部

Ema, M., Kurosaka, R., Amano, H., and Ogawa, Y.: **Phase specificity of the developmental toxicity of mono-*n*-butyl phthalate in rats**
International Congress of Toxicology VII, Seattle, U. S. A. (1995.7)

江馬真, 黒坂麗子, 天野博夫, 小川義之: モノブチルスズ, ジブチルスズおよびトリブチルスズのラットにおける発生毒性の比較
第22回日本毒科学会学術年会 (1995.7)

岩瀬隆之*, 江馬真, 岩瀬裕美子*, 稲沢圭子*, 小川義之: Di-*n*-butyltin dichlorideの催奇形性に対する培養ラット胚の感受性変化について
第35回日本先天異常学会学術集会 (1995.7)

* 三菱化学横浜総合研究所 安全性研究所

江馬真, 黒坂麗子, 天野博夫, 小川義之: モノブチルфтаレートラットのラットにおける発生毒性
第35回日本先天異常学会学術集会 (1995.7)

中村ゆかり, 村井敏美, 小川義之: PC12細胞のニューロン分化に伴うストレス蛋白質の発現量の変化
第68回日本生化学会大会 (1995.9)

岩瀬隆之*, 江馬真, 岩瀬裕美子*, 小川義之: 胎生8日目からの培養ラット胚に対するdi-*n*-butyltin dichlorideの影響
日本動物実験代替法学会第9回大会 (1995.11)

* 三菱化学横浜総合研究所 安全性研究所

Ema, M., Harazono, A., Miyawaki, E., Amano, H., and Ogawa, Y.: **Phase-specific developmental toxicity of mono-*n*-benzyl phthalate (MBeP) in rats**
Society of Toxicology 35th Annual Meeting, Anaheim, U. S. A. (1996.3)

芝野真喜雄*, 松本吉広*, 草野源次郎*, 柴田敏郎: 国内薬用植物園で植栽される *Glycyrrhiza* 属植物の実態調査

と系統化のための基礎研究 (その5)

日本生薬学会第42回年会 (1995.9)

* 大阪薬科大学

松本吉広*, 芝野真喜雄*, 草野源次郎*, 柴田敏郎: 国内薬用植物園で植栽される *Glycyrrhiza* 属植物の実態調査と系統化のための基礎研究 (その6)

日本薬学会第116回年会 (1996.3)

* 大阪薬科大学

酒井英二, 柴田敏郎, 西孝三郎, 飯田修, 佐竹元吉: 薬用植物種子の保存に関する研究

日本生薬学会第42回年会 (1995.9)

野呂征男*¹, 久田陽一*¹, 奥田和代*¹, 川村智子*¹, 森崇*¹, 田中俊弘*², 西部三省*³, 酒井英二: ゲンノシユウコのフラボノイドについて (3) フラボノイドとゲラニンおよび花色との関連と変動

日本薬学会第116回年会 (1996.3)

*¹ 名城大学薬学部*² 岐阜薬科大学*³ 北海道医療大学薬学部

神谷隆*, 佐々木和生, 吉松嘉代, 下村講一郎: ベラドンナ毛状根の凍結保存・簡便法および評価

第14回植物組織培養学会大会 (1995.7)

* 秩父小野田(株)

吉松嘉代, 佐々木和生, 山口浩子*, 下村講一郎: オタネニンジン毛状根の凍結保存

第14回植物組織培養学会大会 (1995.7)

* 佐賀県薬業指導所

W. Shu, K. Yoshimatsu, H. Yamaguchi* and K. Shimomura: Tissue culture of *Panax ginseng*: Somatic embryogenesis and hairy root culture

第14回植物組織培養学会大会 (1995.7)

* 佐賀県薬業指導所

浅井以和夫*¹, 義平邦利*¹, 大本俊郎*², 佐久井徳広*², 下村講一郎: *Anthemis nobilis* L. の培養による香氣成分の生産

第14回植物組織培養学会大会 (1995.7)

*¹ 東亜大学*² 三栄源 FFI

安哲準, 多田弘美*, 石丸幹二*, 佐々木和生, 下村講一郎: 韓国産キキョウにおける毛状根の誘導とポリアセチレン生産

第14回植物組織培養学会大会 (1995.7)

* 佐賀大学農学部

梅津博紀*¹, 和気仁志*², 鈴木雅子*², 永井智雄*³, 下村講一郎: 低温保存した植物培養細胞のアイソザイム

日本農芸化学会1995年度大会 (1995.8)

*¹ 青森大学工学部*² ペんてる(株)中央研究所*³ 鐘紡(株)生化学研究所鷲田大輔*¹, 北中進*¹, 滝戸道夫*¹, 下村講一郎, 中島由郎*²: F1薬用人参 (*Panax ginseng* x *P. quinquefolium*) の毛状根培養におけるオーキシンの効果

日本生薬学会第42回年会 (1995.9)

*¹ 日本大学薬学部*² 長野県営農技術センター

吉松嘉代, 北澤尚, 下村講一郎: 高度環境制御下におけるケシの生育とアヘンアルカロイド

日本生薬学会第42回年会, 福山 (1995.9)

山中美智子*¹, 寺原典彦*², 下村講一郎, 石丸幹二*¹: *Loberia* 属植物毛状根を用いたポリアセチレン生産とフェノール類の配糖化

園芸学会平成7年度秋季大会 (1995.10)

*¹ 佐賀大学農学部*² 南九州大学田中章江*, 下村講一郎, 石丸幹二*: *Loberia erinus* L. の組織培養と二次代謝に関する研究

園芸学会平成7年度秋季大会 (1995.10)

* 佐賀大学農学部

元森美奈雄*¹, 井手順子*¹, 下村講一郎, 森欣也*², 國武久登*², 中島壽亀*², 田中政信*², 宮崎貞巳*¹, 石丸幹二*¹: *Fragaria x ananassa* の毛状根培養におけるポリフェノール類生産

園芸学会平成7年度秋季大会 (1995.10)

*¹ 佐賀大学農学部*² 佐賀農業試験センター

吉松嘉代, 西孝三郎, 下村講一郎: 薬用植物の超低温保存に関する研究 I. オタネニンジンおよびトウキ毛状根について

日本薬学会第116回年会 (1996.3)

鷲田大輔*¹, 武藤全弘*¹, 滝戸道夫*¹, 北中進*¹, 下村講一郎, 中島由郎*²: F1薬用人参の毛状根培養におけるポリアセチレン類の生産

日本薬学会第116回年会 (1996.3)

*¹ 日本大学薬学部*² 長野県営農技術センター

八木 晟*, 浅井雅美*, 日根紀子*, 長尾美代子*, 岡村信幸*, 下村講一郎: アロエベラのカルスと茎頂培養におけるアロエシンのHPLC分析

日本薬学会第116回年会 (1996.3)

* 福山大学薬学部

姉帯正樹*, 兼俊明夫*, 畠山好雄, 柴田敏郎, 飯田修: *Astragalus mongholicus* を基原とする北海道産黄耆の化学的品質評価

日本生薬学会第42回年会 (1995.9)

*北海道立衛生研究所

野口 衛他: 生薬品質集談会報告第26報—キキョウについて—

第24回生薬分析シンポジウム (1995.11.10)

高上馬希重*, 神田博史*, 香月茂樹: *Panax* 属の組織培養に関する研究

日本生薬学会第42回年会 (1995.9)

* 広島大学医学部